

岐阜県博物館報

第48号

2025
岐阜県博物館

は じ め に

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和51年5月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心とした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。この間、岐阜県の学術文化及び博物館教育の拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことを心から感謝申し上げます。

令和6年度は、岐阜県において「清流の国ぎふ」文化祭2024（第39回国民文化祭 / 第24回全国障害者芸術・文化祭）と清流の国ぎふ総文2024（第48回全国高等学校総合文化祭）が行われ、岐阜県ならではの自然、歴史、伝統、文化などを国内外に発信する大会となりました。当館においても館内での展覧会（特別展、企画展、マイミュージアムギャラリー展示）のほか、外部機関との連携企画展や移動展を開催し、国内はもとより海外からの来館者もお迎えし、岐阜県の魅力を発信することができました。

特別展「ポケモン化石博物館」では、人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するふしぎな生き物「カセキポケモン」と私たちの世界で見つかる「化石・古生物」を見比べて、似ているところや異なっているところを発見し、古生物学について楽しく学ぶ展覧会を行いました。企画展「返還30年 岐阜の赤羽刀総覧 ー美濃伝をたどるー」では、赤羽刀返還から30年になることを機に、岐阜県内で受領された赤羽刀を総覧する展覧会を関市と連携して開催しました。博物館・文化財保護センター連携企画展「寺院跡からみた岐阜の歴史 ー古代・中世寺院跡総合調査の成果よりー」では、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査の成果報告と、県内の主な寺院跡の発掘調査の出土品を展示し紹介する展覧会を開催しました。企画展「雑草と呼ばないで」では、雑草とよばれる植物を通して、植物の生き方や、生きもの同士のつながり、人間生活との関わりを紹介する展覧会を開催（令和7年6月15日まで）しています。

また、博物館・図書館連携企画展「美しい鉱物の世界」、移動展「UKIYO-E ー多岐多様ー」等、館外で開催する展覧会も実施することができました。このほかにもマイミュージアムギャラリーでは、岐阜県にゆかりのある方が収集し所蔵するコレクションや、生涯学習で得た成果を展示公開する場として全5回の展示を行い、多くの来館者に展示を見ていただくことができました。

令和7年度も多くの展覧会の開催を計画しております。開館プレ50周年記念特別展「尾張徳川家ゆかりの美濃刀」では、徳川美術館刀剣コレクションからこれまで公開機会が稀であった美濃刀を一堂に紹介します。開館50周年を前に、知られざる徳川家ゆかりの美濃刀コレクションを紹介します。博物館・岐阜大学連携特別企画展「鳥の卵のひみつ ーBird Eggsー」では、貴重な鳥卵コレクションを紹介することで、さまざまな鳥の卵の形や模様を楽しむとともに、鳥類の保全活動に関心を持っていただける展覧会を、岐阜大学と連携して開催します。博物館・歴史資料館連携企画展「豊臣秀吉と美濃（仮）」では、当館が近年収集している織豊期文書や県歴史資料館が所蔵する古文書を中心に、豊臣秀吉と美濃国の関係をうかがう史料を展示します。

このほか、博物館・図書館連携企画展、移動展等、館外の県内各地で開催する展覧会も計画しております。また、三重県総合博物館（MieMu）との交流企画講演会を含む全12回の講演会や、収蔵庫探検などを含む全32回のけんぱく教室、2年ぶりの開催となる「荘川化石フォーラム」など、広く県民の皆様が親しみ、学んでいただける催し物を多数計画しております。

来年度は当館の開館から50周年となります。この節目の年に向け、館内外での展示活動、調査研究活動、資料収集保管活動、サポーター協働事業、民間商業施設との連携イベントなどをさらに充実させ、岐阜県の自然、歴史、文化の魅力の一層の発信に努めてまいります。

ここに、令和6年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第48号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のために引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年4月1日

岐阜県博物館長 梅本雅史

目 次

はじめに

I 博物館概要

1 設置目的	1
2 基本的性格	
3 基本方針	
4 沿革	2
5 歴代館長名簿	3
6 施設・設備	4

II 令和7年度の組織・体制

1 職員	6
2 展示活動	7

III 令和6年度のあゆみ

1 職員	9
2 岐阜県博物館協議会	10
3 日誌抄	
4 実施事業の概要	
5 展示活動	12
6 調査研究活動	20
7 資料収集活動	24
8 教育普及活動	25
9 利用状況	35
10 博物館関係団体	36

IV 利用案内（令和7年度）

37

I 博物館概要

1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学、古生物）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

3 基本方針

(1) 資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・資料紹介展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層が親しめる展示
 - ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
 - ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
 - ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
 - ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
 - ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
 - ・解説が明確で分かりやすい展示
- 各展示室の主題と内容は、次のとおりである。

・人文展示室（人文総合展示）

主題「郷土のあゆみ」・・・先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。

・自然展示室1（自然総合展示）

主題「郷土の自然とおいたち」・・・郷土の自然の概要を系統的に展示する。

・自然展示室2（自然課題展示）

主題「郷土のさまざまな自然」・・・特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。

・特別展示室、企画展示室

一定期間に、特定のテーマを設定して、資料紹介するなど、年に数本の特別展・企画展を行う。特別展期間中の企画展示室や企画展期間中の特別展示室では、人文課題展示を行う。

(3) 調査研究活動

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力を努める。
- ・サポーターとの協働活動を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

(5) 人材育成

博物館が資料の収集・保管、調査研究、公開などの活動を通じて地域社会に貢献できるように、博物館職員がそれぞれの職位・職種において必要な専門性を高めるとともに、博物館を取り巻く社会の動向や求められる役割などについての理解を深めるための研修を行う。

4 沿革

		昭和62年 4月	特別展「飛驒の弥生時代」 入館者110万人を突破	7月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典 挙行、一般公開
昭和46年 3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において博物館建設決定	7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」	8月	恐竜ゼミナールGIFU'95開催
4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置	10月	特別展「飛驒の匠」 旧徳山村民家移築復元	10月	特別展「美濃・飛驒の古代史発掘～律令国家の時代～」 入定三百年記念「円空展」（共催名古屋市） 「マルチメディア工房ざぶ」開設（県下第1号）
6～9月	博物館懇談会を設ける	昭和63年 1月	自然展示室1を改装	11月	円空シンポジウム「世界における円空」
昭和47年 4月	博物館開設準備室を設置 展示委員会を設ける	4月	特別展示室ショーケース改修	平成 8年 4月	高校生常設展入館料無料化
昭和48年 8月	起上式挙行	7月	特別展「ふるさとの湿原」	5月	入館者170万人を突破
昭和49年 3月	展示実施計画樹立	10月	特別展「中生代の化石」 入館者120万人を突破	7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
10月	定礎式	平成元年 4月	特別展「濃飛の古墳時代」	8月	アメリカ合衆国ユタ州プリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式挙行
昭和50年 3月	展示工事着手	7月	特別展「ふるさとの野鳥」	10月	飛驒美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」
7月	本館建築竣工	8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見	11月	飛驒美濃合併120周年記念「文化講演会」（阿川弘之氏、山田智彦氏（作家））
昭和51年 1月	展示工事完了	10月	特別展「移ろいゆく年中行事」	平成 9年 3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」中山道編ソフト完成
4月	岐阜県博物館条例公布 岐阜県博物館設置 展示資料等製作完了	11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊寄贈	4月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」
5月	開館記念式典挙行 一般公開「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」	平成 2年 4月	特別展「輪中と治水」	9月	特別展「葉草のふるさと伊吹」
7月	皇太子・同妃殿下行啓	7月	特別展「白山の自然」 恐竜足跡化石レプリカ除幕式	11月	入館者180万人を突破 棚橋賞受賞「岐阜県博物館「マイ・ミュージアム」～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」
8月	特別展「ふるさとの文楽」 入館者10万人を突破	10月	特別展「濃飛の仏像」	平成10年 3月	財団法人日本博物館協会表彰 ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」飛驒街道・郡上街道編ソフト完成
10月	入館料徴収開始	12月	岐阜県博物館協議会から中間 答申	4月	アロサウルス骨格標本展示 ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」
11月	特別展「熊谷守一展」	平成 3年 3月	岐阜県博物館案内標識を設置	7月	特別展「つのつのかぶとむし」
昭和52年 5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」 入館者20万人を突破	4月	特別展「ふるさとの木の文化」	9月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」
7月	特別展「郷土の化石展」	7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」	平成11年 7月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」 入館者190万人を突破
11月	特別展「鉄斎」	10月	置県120年・岐阜鹿児島姉妹県 盟約20周年記念展「鹿児島～その自然と歴史～」	9月	特別展「恐竜時代」 特別展入館者4万人突破
昭和53年 4月	入館者30万人を突破 特別展「濃飛の甲冑」	11月	入館者140万人を突破	10月	特別展「水とまつり～古代人の祈り～」 特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」
7月	特別展「世界のコガネムシ」	平成 4年 3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」 答申	平成12年 7月	特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」
10月	特別展「能面と装束」	4月	特別展「飛驒のあけぼの～交流する縄文・古代人～」	9月	特別展「すばらしき東濃の自然 再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」
昭和54年 4月	入館者40万人を突破 特別展「濃飛の先史時代」	7月	特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」	11月	入館者200万人を突破
7月	特別展「世界の貝」	10月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」	平成13年 7月	特別展「あのころいた鳥～そういえばトキもおったげな～」
10月	特別展「濃飛の文人」	11月	小中学生常設展入館料無料化	9月	特別展「七代目田十郎と国貞、 国芳～芝居、錦絵、中山道～」
11月	「視覚障害者（触察）コーナー」 開設	平成 5年 3月	入館者150万人を突破	11月	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」（マイミュージアムギャラリー） 全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001グランプリ受賞
昭和55年 4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」	4月	特別展「土と炎の芸術」	平成14年 2月	NEDO共同研究事業太陽光発電システム完成
5月	入館者50万人を突破	7月	特別展「飛驒のあけぼの～交流する縄文・古代人～」		
7月	特別展「化石の世界」	10月	特別展「失われゆく植物」		
10月	特別展「蕨虫山人」	11月	「ハイパーハイビジョン風土記」 イメージレーションソフト完成		
昭和56年 4月	特別展「美濃の絵馬」	平成 6年 1月	20日マイ・ミュージアム棟起工 式		
5月	入館者60万人を突破	3月	大型ほ乳足跡化石を展示		
7月	特別展「御岳山は生きている」	4月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」		
10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」	8月	恐竜の歯等荘川村で発見		
昭和57年 4月	特別展「高賀山の信仰」 入館者70万人を突破	9月	特別展「美濃山地の自然」		
7月	特別展「ふるさとの植物」	10月	入館者160万人を突破		
10月	特別展「東洋の貨幣」	12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95展 示化石の借用、交流の推進）		
昭和58年 4月	特別展「岐阜県の考古遺物」	平成 7年 3月	マイ・ミュージアム棟工事完成		
5月	入館者80万人を突破	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」美濃路編ソフト完成			
7月	特別展「長良川」	4月	特別展「岐阜の淡水魚」		
10月	特別展「郷土の生んだ先覚者」		花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示		
昭和59年 4月	特別展「濃飛の戦国武将」				
7月	特別展「ふるさとの昆虫」				
8月	入館者90万人を突破				
10月	学習ビデオ教材コーナー設置 特別展「濃飛の蘭学」				
昭和60年 4月	特別展「濃飛の縄文時代」				
7月	特別展「鉱物の世界」				
10月	特別展「美濃の刀剣」 入館者100万人を突破				
12月	自然展示室2を改装				
昭和61年 4月	特別展「徳山の四季とくらし」				
7月	特別展「奥飛驒の自然」				
9月	人文展示室1を改装				
10月	開館10周年記念式典挙行 開館10周年記念展「ふるさとの祭り」				

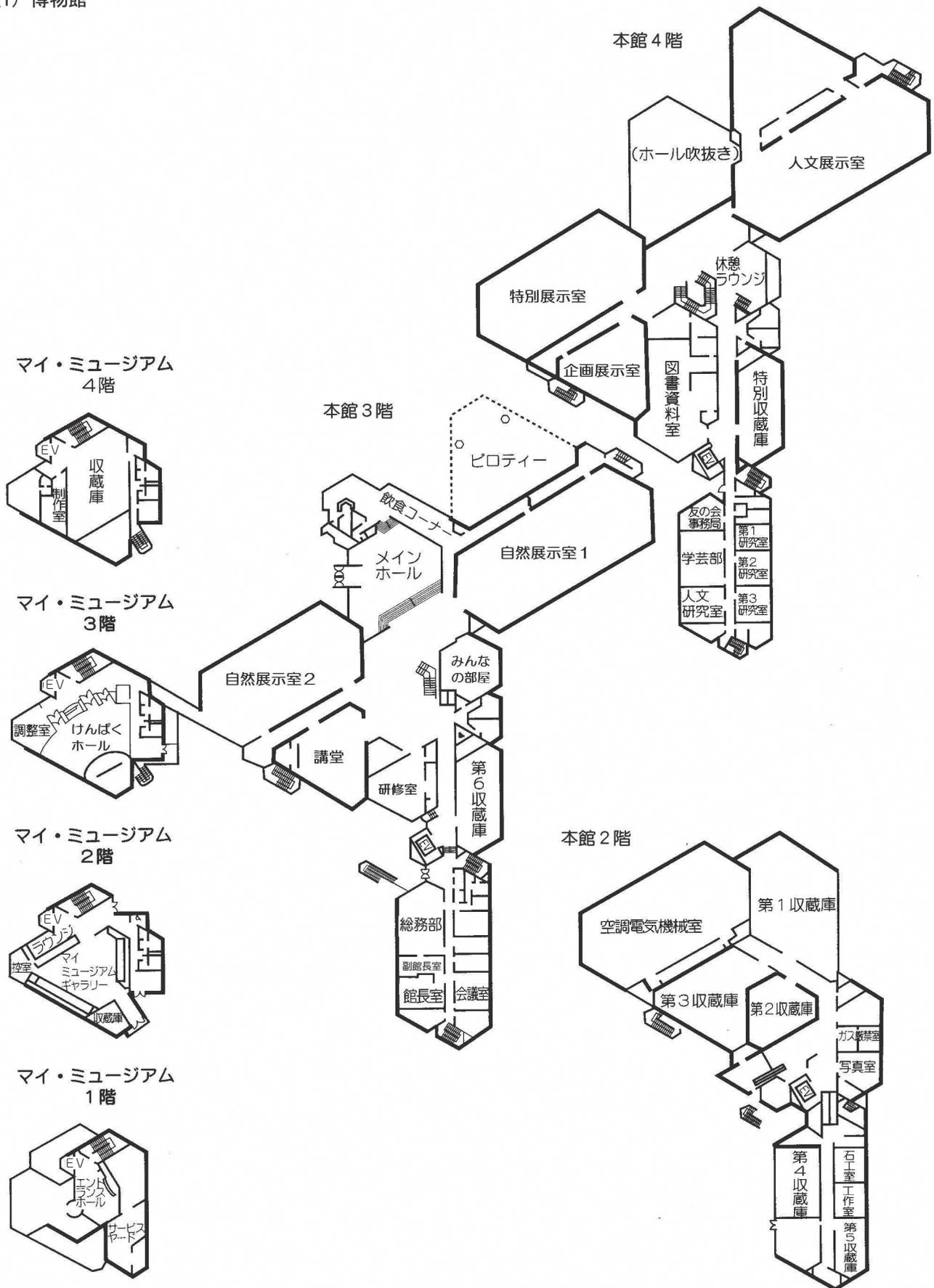
3月	バリアフリー対策事業小型モノレール(スロープカー)完成	博物館総合案内」3,800冊寄贈	12月	収藏品選集製作		
4月	特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ～」	9月 特別展「骨のあるやつ」	平成30年 4月	特別企画展「兼定 刀都・関の名工」		
5月	入館者210万人を突破	9月 特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」	5月	入館者300万人を突破		
平成15年 10月	特別展「中山道街道400年」	10月 入館者260万人を突破	7月	特別展「理科室からふるさとの自然を見つめて～知れぬほど面白い標本の世界～」		
7月	特別展「昭和くらしの歩み～30年代を中心～」	平成22年 7月	特別展「川ーカワ・イイね!～流れがつくり出す自然～」	博物館機能全県展開本格稼働		
9月	特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見!キノコと山菜、薬草の魅力～」	平成23年 9月	開館35周年記念特別展「濃尾震災120年」	9月	特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家一大御乳・池田恒興・輝政の戦い～」	
平成16年 10月	入館者220万人を突破	11月 入館者270万人を突破	令和元年 7月	特別展「剣精霊貫白虹一幕末美濃の剣豪と名刀～」		
7月	特別展「タイムトラベル石器時代～大昔はどんなくらしをしていたの?～」	平成24年 7月	特別展「飛騨・美濃の信仰と造形」	9月	特別展「岐阜は日本のど真ん中ー岐阜県植物誌は語るー」	
9月	特別展「里山ミュージアム～ドングリころころオオタカびゅーん～」	平成25年 9月	特別展「岐阜、染と織の匠たち」	12月	入館者310万人を突破	
平成17年 4月	高校生以下入館料年間無料化(特別展入館料無料化)	平成26年 2月	特別展「弥生大集落ー荒尾南遺跡が語るモノと心ー」	令和2年 4月	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4/4～5/18を臨時休館	
5月	入館者230万人を突破	7月	特別展「奇なるものへの挑戦、明治大正/異端の科学」	9月	特別展「光秀が駆けぬけた戦国の岐阜」	
7月	特別展「線路はつづくよ～岐阜、鉄道のあゆみ～」	平成27年 4月	百年公園駐車場を無料化	12月	特別企画展「みんなの恐竜学」	
9月	特別展「『名水・温泉・名勝』展～水と大地のハーモニー～」	特別展「天下人の時代～信長・秀吉・家康と美濃～」	令和3年 7月	特別展「薩摩の陶と刀」	8月	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、8/27～9/30を臨時休館
平成18年 4月	開館30周年記念式典挙行	9月	特別展「自然のくすり箱～薬草とわたしたちの暮らし～」	10月	特別企画展「今日から防災!」	
開館30周年記念特別展「緑いきいき!岐阜の森」	平成28年 7月	飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展「新・恐竜学～鳥になった恐竜の脳科学～」	令和4年 5月	入館者320万人を突破	9月	特別展「発見!いこしえの岐阜ー弥生・古墳・古代ー」
5月	開館30周年記念植樹モリゾー・キッコロ来館全国植樹祭中濃サテライト会場～来館者全員招待入館～	8月	カリコテリウム類の化石(国内初発見)特別展示	12月	特別展「パレオアート作品展ー二人のパレオアーティストー」	
8月	入館者240万人を突破	9月	飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展「東海地方の円空仏」	令和5年 7月	特別展「岐阜の祭り みんなのこころ料」	
9月	飛騨美濃合併130周年記念行事博物館1日無料開放	平成29年 4月	SNS開設	9月	特別展「出かけよう!0→3,000mの旅ー植物が彩る物語ー」	
11月	文化の日博物館無料開放	7月	民間施設連携開始	令和6年 4月	国登録有形文化財「旧宮川家住宅」の一般公開を再開	
平成19年 7月	特別展「恐竜と生命の大進化～中国雲南5億年の旅～」	9月	特別展「生きている大地～地質図が語るぎふの大地～」	5月	入館者330万人を突破	
9月	特別展「発掘された日本列島2007～新発見考古速報展～」	9月	中濃地域連携企画展	7月	特別展「ポケモン化石博物館」	
10月	入館者250万人を突破	特別展「壬申の乱の時代ー美濃国・飛騨国の誕生に迫る」	令和7年 1月	施設設備改修に伴う臨時休館(1/14～3/17)		
平成20年 11月	文化の日博物館無料開放開始	10月	関市シティバス「百年公園前」バス停新設			
5月	日本生命財団から図書「岐阜県					

5 歴代館長名簿

	在職期間(年度)	氏名		在職期間(年度)	氏名
1	昭和51年	小幡忠良	17	平成18年	古川和明
2	昭和52年～昭和54年	松尾克美	18	平成19年～平成20年	高屋一行
3	昭和55年～昭和56年	大橋桃之輔	19	平成21年	浅野裕司
4	昭和57年～昭和58年	吉本幹彦	20	平成22年	石田克
5	昭和59年	関谷美智男	21	平成23年～平成24年	河合正明
6	昭和60年～昭和61年	廣田照夫	22	平成25年～平成26年	後藤弘之
7	昭和62年～昭和63年	森崎利光	23	平成27年	杉原茂男
8	平成元年～平成2年	伊藤秀幸	24	平成28年	水谷淳子
9	平成3年～平成4年	篠田幸男	25	平成29年	中島守
10	平成5年～平成6年	横山勢津男	26	平成30年～令和元年	平井克昭
11	平成7年～平成8年	清水廣美	27	令和2年	中本敏
12	平成9年～平成10年	高田晃	28	令和3年	副島雅浩
13	平成11年～平成12年	遠藤祐神	29	令和4年～令和5年	森島勝博
14	平成13年～平成14年	高橋宏之	30	令和6年	丹羽和也
15	平成15年～平成16年	武山柁司	31	令和7年	梅本雅史
16	平成17年	下畑五夫			

6 施設・設備

(1) 博物館



主要室（名称及び面積）

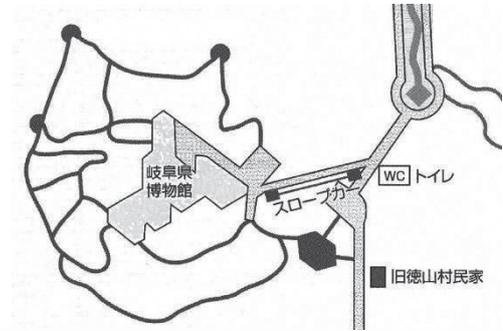
本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫	202.3
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
3階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫	25.3
	自然展示室2	478.8			
	みんなの部屋	95.4	3階	けんぱくホール 調整室	192.3
	講堂	174.5			
	研修室	93.2			
4階	第6収蔵庫	142.8	3階	けんぱくホール 調整室	47.0
	人文展示室	942.3			
	特別展示室	478.8	4階	収蔵庫等	281.3
	企画展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
本館合計		4,344.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7

(2) 館外施設

① 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約830mで、途中見晴らし台が2か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。



自然観察のこみち

② 旧徳山村民家

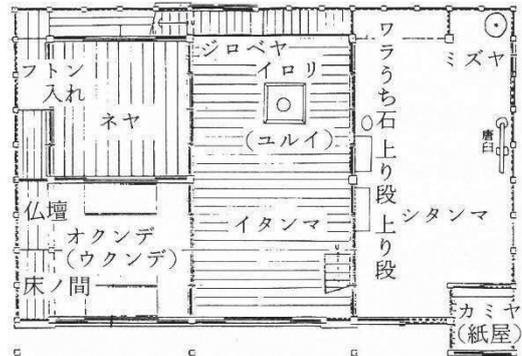
徳山ダム建設に伴い、徳山村は廃村（揖斐川町に合併）となったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料公開してきた。

平成30年11月、「旧宮川家住宅主屋」として国登録有形文化財に登録された。令和元年度より保存活用事業を進め、令和6年4月より一般公開を再開した。

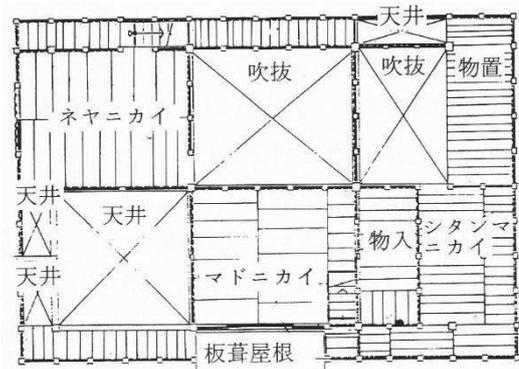
- ・様式：木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97㎡
- ・延面積：197.48㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治前期ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



旧徳山村民家



1階間取り図

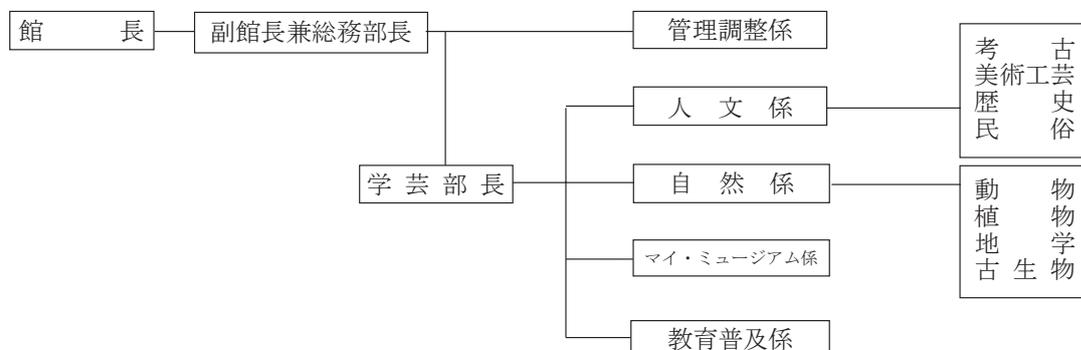


2階間取り図

II 令和7年度の組織・体制

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	梅本雅史	【学芸部】			
副館長兼総務部長	河田哲也	学芸部長	山田昭彦	[マイ・ミュージアム係]	
【総務部】		[人文係]		係長	南本有紀
[管理調整係]		係長(考古)	近藤大典	主任	佐藤裕泰
課長補佐兼係長	石川徹	主査(民俗)	長野宜延	学芸業務専門職	高屋嘉文
課長補佐	林隆彦	主事(歴史)	中川創喜	デジタル・アーカイブ	東條佳緒里
主任	渡邊千尋	”(美術工芸)	佐竹祐佳	業務専門職	
主事	多和田楓	[自然係]		[教育普及係]	
会計・人事労務	小野真紀	係長(動物)	説田健一	課長補佐兼係長	星野友多
業務専門職	梅村晃尚	主査(地学)	武藤正樹	主査	藤井和光
補助職員		主任(植物)	松久聖子	学芸業務専門職	千藤克彦
(事務補助)		”(古生物)	高津翔平	”	武藤由子
				管理業務専門職	坪井宏美
				”	長田麻友子
				”	福島江里菜
				”	倉橋美紀子
				”	鈴木奈おみ
				”	宮崎亜優

(3) 異動(令和7年4月1日)

転出者(退職者)	館長	(丹羽和也)	転入者	館長	梅本雅史
課長補佐兼係長	堀拓嗣		課長補佐兼係長	石川徹	
課長補佐兼係長	則竹裕嗣		課長補佐	林隆彦	
主査	松井絵里子		主任	藤井和光	
主任	(河手克巳)		主任	佐藤裕泰	
主任	石井宏明		主事	多和田楓	
主事	間宮千尋		主事	佐竹祐佳	
補助職員	(梅村早夜花)		補助職員	梅村晃尚	
(事務補助)			(事務補助)		

2 展示活動

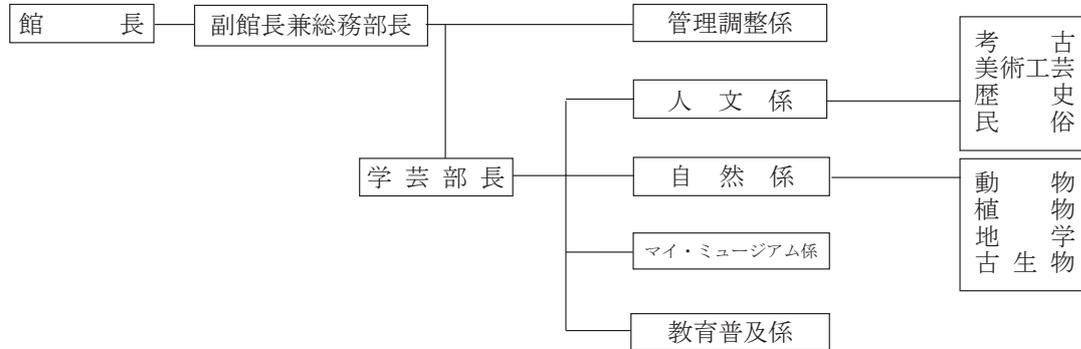
展 示 名	期 間	展 示 内 容
常設展	年 間	人文展示室では「郷土のあゆみ」を主題とし、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示します。特別展示室または企画展示室では「郷土の民俗と美術工芸」を主題とし、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示します。自然展示室1では「郷土の自然とおいたち」を主題とし、郷土の自然の概要を系統的に展示します。自然展示室2では「郷土のさまざまな自然」を主題とし、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示します。
企画展 「雑草とよばないで」	令和6年度 3/18 (火) ～ 令和7年度 6/15 (日)	田や畑、道端、空き地などに繁茂し、厄介ものとして見向きもされない植物たち。雑草とよばれるのは、一般的にそのような植物です。しかしながら、個々の植物に注目すると、それぞれに名前があり、美しい花を咲かせ、巧みに生きています。雑草が茂った場所は、見方を変えれば、それぞれの季節にその場所特有の野生植物が咲き乱れるお花畑です。そんな場所に虫たちは集まり、生きもの同士が関係し合う、自然の営みが成り立っています。 本企画展では、雑草とよばれる植物を通して、植物の生き方や生きもの同士のつながり、人間生活との関わりを紹介します。本企画展が身近な自然に目を向けるきっかけとなれば幸いです。
移動展 「伝統、そして傑作 —岐阜県博物館コレクションを 中心に—」 (会場：飛騨高山まちの博物館)	4/12 (土) ～ 6/15 (日)	岐阜県は、一位一刀彫や美濃焼、鶺鴒をはじめとした多くの文化遺産を有しています。これらは“伝統”として世代を超え大切に受け継がれているだけでなく、時代の変遷とともに多彩な“傑作”も生みだし、岐阜県が世界に誇る文化・伝統となっています。 今回は、岐阜県の誇るべき“伝統”のなかで、美術作品、技術、民俗芸能の分野から、岐阜県博物館が所蔵する資料を中心に、受け継がれてきた“伝統”とそこから生まれた“傑作”を見ていただければと思います。 これらの展示をとおして、様々な年代の方に岐阜の“伝統”と“傑作”を知っていただき、その魅力を再発見していただくことを願っています。
特別企画展 「鳥の卵のひみつ —Bird Eggs—」	7/12 (土) ～ 9/21 (日)	鳥の卵は美しい。完璧な形、表面の多様な色や模様は、古くから多くの人々を魅了してきました。18世紀のヨーロッパでは、卵殻のコレクションが豪華な応接間を彩る装飾品として欠かせないものでした。19世紀から20世紀のはじめ、博物学的な趣味として卵殻の標本収集が流行しましたが、鳥類の繁殖への影響が大きいため、現在は、ほとんどの国で鳥の卵を採集することが禁じられています。 この特別企画展は、岐阜県博物館と岐阜大学が連携して開催するもので、貴重な鳥卵コレクションを紹介することで、さまざまな鳥の卵の形や模様を楽しむとともに、鳥類の保全活動に関心を持つ機会とします。
博物館・図書館連携展 「ゆかいな冬芽たち」 (会場：岐阜県図書館)	8/23 (土) ～ 10/5 (日)	樹木の冬支度は、すでに夏から始まっています。春に開く葉や花を、寒い冬の間大切に守るための冬芽は、すでに夏頃からでき始めているのです。冬芽のかたちは、植物の種類によってさまざまで、個性があります。葉が落ちた痕は、動物などの顔に見えることがあり、よく見ると非常にユニークで、思わず微笑んでしまうようなかたちをしています。 本企画展では、身近で見られる樹木について、冬芽とともに押し葉標本も紹介します。冬には葉っぱが落ちてしまい、樹木を見分けるのが難しくなりますが、来たる冬に向けて、気になる冬芽とその葉をチェックできたら…、この冬の植物観察がきっと楽しくなるはずです。
開館50周年記念特別展 「尾張徳川家ゆかりの美濃刀」	10/10 (金) ～ 12/7 (日)	全国屈指の武家文化コレクションを誇る徳川美術館には、徳川家康の遺贈品を核に、尾張徳川家代々の刀剣類が伝来しており、刀剣ファンの評価が高い美術館です。その刀剣コレクションは、いずれも由緒・伝来を伴う「質」だけでなく、数百点を数える「量」も他の追随を許しません。それら名刀・名物の陰に隠れる形でこれまで公開の機会を逸してきた刀剣群の中には、美濃鍛冶の作刀が少なからず含まれています。 本展は、徳川美術館刀剣コレクションから、これまで公開機会が稀であった美濃刀を一堂で紹介するものです。戦国期、実用刀として天下人の地元で鍛錬された美濃刀は、切れ味のよさや使い勝手が評価されこそすれ、美術・市場的価値は看過されてきました。開館50周年を前に、知られざる徳川家ゆかりの美濃刀コレクションは、岐阜の地でこそ公開の意義があるといえるでしょう。
博物館・歴史資料館連携企画展 「豊臣秀吉と美濃 (仮称)」	2/14 (土) ～ 3/29 (日)	岐阜の地は、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三人が、それぞれに統一権力を形成していく中で重要な役割を果たしました。本連携企画展では、大河ドラマでも話題の豊臣秀吉の時代をとりあげます。天正10年、本能寺の変で織田信長が倒れた後、羽柴(豊臣)秀吉が勢力を拡大する中、美濃国は天正11年賤ヶ岳の戦い・同12年小牧長久手の戦いの広域戦争で戦場の一つとなります。秀吉は美濃を重要な領国の一つとして豊臣政権の直轄地を設定し、要地に親族・直臣大名を配置します。天正17年には土地生産力の把握を目的に美濃全域で検地(「太閤検地」)を行っています。その後、2度にわたる朝鮮出兵と秀吉の死によってもたらされた政権の動揺は、関ヶ原合戦へとつながります。 本連携企画展は、県博物館が近年収集している織豊期文書や県歴史資料館が所蔵する古文書を中心に、豊臣秀吉と美濃国の関係をうかがう史料を展示し紹介することで、あらためて秀吉の時代の美濃を知っていただく機会とします。

展 示 名	期 間	出 展 者 に よ る 展 示 内 容 紹 介
マイミュージアムギャラリー 第1回展示 「つまみ細工 —日本の伝統工芸を生活の中に—」	4/12 (土) ～ 5/11 (日)	「つまみ細工」とは、江戸時代から伝わる伝統工芸品で、着物の端切れや再利用といった形で布を四角に織りたたみ、花や蝶々を遊び感覚で作ったのが始まりとされています。 主に結い上げた髪に飾るかんざしとして使われてきましたが、本展示では『ハレの日』を彩るかんざしの他、『ハレの日』以外で日々の生活に華を添える作品を展示します。花をつくるつまみ細工体験や、実際に認定講師が作成しているところを見学する実演もあります。本展示を通して、つまみ細工を身近に感じてもらえるきっかけとなれば幸いです。
マイミュージアムギャラリー 第2回展示 「季節の植物画、魚画、油彩画展」	5/31 (土) ～ 6/29 (日)	出展者である高井氏は、およそ 30 年間絵を描き続けており、その特徴は「ありのままの特徴を正確にとらえて描くこと」にあります。 本展示では、水彩画で描いた季節の植物画や、魚画を中心とした顔彩画、家族の姿を描いた油彩画など 30 年間描いた作品を展示します。 写真を使うことなく、生きているうちに描いたからこそ伝わる自然の花の生命力や、肌や生地質感を追求した油彩画に注目していただければ幸いです。
マイミュージアムギャラリー 第3回展示 「鉄道コレクションと 旅の思い出今昔展」	7/19 (土) ～ 8/17 (日)	日本各地を旅行したり、古書市で収集したりして集めた鉄道コレクションを紹介します。 本展示では、全国の観光地で集めた駅弁や記念切符といった本田氏の旅の思い出と共に、鉄道模型、鳥瞰図、鉄道パンフレット、鉄道時刻表、鉄道部品整備の工具、鉄道記念メダル等の展示をします。また、鉄道写真や絵ハガキの比較から分かる今の岐阜の様子と昔の岐阜の様子を比較し、岐阜の歴史について考えるきっかけとなれば幸いです。
マイミュージアムギャラリー 第4回展示 「熱虫! 夢虫!! 漫画★アニメ 本・グッズ コレクション!! 「昭和100年・たいせつなものは かわらない。 —断じて 捨てない 離さない! —」	9/6 (土) ～ 10/5 (日)	手塚治虫は、「鉄腕アトム」、「ジャングル大帝」、「リボンの騎士」、「火の鳥」、「ブラックジャック」など生涯多くの漫画を描き続けてきました。出展者である林氏は、偶然押し入れからボロボロになった「鉄腕アトム」を見つけた際、幼少期遊んだ思い出がよみがえり、本・グッズの収集に引き込まれていきました。 令和7年は昭和100年にあたり、手塚作品では、アニメ「ジャングル大帝」が放送開始60周年になります。 今回は、林氏のコレクションの中から虫プロ時代のグッズ約3500点を展示します。水筒、時計、おもちゃの楽器などのグッズを通した昭和の子供文化をお楽しみください。
マイミュージアムギャラリー 第5回展示 「岐阜生まれの戦国武将 黒野城唯一の城主・加藤貞泰展」	10/25 (土) ～ 11/24 (月・振)	加藤貞泰とは、岐阜市出身の戦国武将であり、黒野城唯一の城主であったこととして知られています。 本展示では、古文書や検地帳、城下町のジオラマ、パネル、年表から、加藤貞泰公の生涯について紹介します。また、マイミュージアムギャラリー展示関連講演「どうする! 貞泰」では、加藤貞泰公がなぜ関ヶ原合戦で石田方から徳川方に味方したのか、洪水から領民を守るためにとった行動について解説します。
マイミュージアムギャラリー 第6回展示 「暮らしを彩る手仕事展」	12/13 (土) ～ 1/18 (日)	ふれあいパッチワーク教室代表横山氏は、パッチワークで感じた人、家族、地域のつながりを大切にしながら、約40年間制作活動に取り組んでいます。 本展示では、パッチワークの作品について、2mを超える大作から身の回りの実用的な小物までの暮らしを彩る作品を展示します。思いを込めたタペストリー、パッチワーク教室の講師で作った100本以上の色とりどりの紫陽花などの手仕事作品を見て頂けたら幸いです。
マイミュージアムギャラリー 第7回展示 「魅惑のにゃんこ展 —アールヌーボーの美学—」	2/7 (土) ～ 3/8 (日)	本展示は、ねこ(にゃんこ)特有のしなやかな曲線美を最大限表現するために、アールヌーボーのスタイルでにゃんこを描くことにこだわっています。アールヌーボーとは、新しい芸術を意味するフランス語であり、出展者である前田氏は、形や大きさを自由に変えることができるデジタルアートの作風で表現しました。 「あなたの推しにゃんこにきっと出会える!」をテーマにした展示会となっております。あなたの日常に寄り添うにゃんこを探しに来てください。

Ⅲ 令和6年度のあゆみ

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	丹羽和也	【学芸部】			
副館長兼総務部長	河田哲也	学芸部長	山田昭彦	[マイ・ミュージアム係]	
【総務部】		[人文係]		係長	南本有紀
[管理調整係]		係長(考古)	近藤大典	主任	石井宏明
課長補佐兼係長	堀拓嗣	主査(民俗)	長野宜延	学芸業務専門職	高屋嘉文
主任	河手克巳	〃(美術工芸)	松井絵里子	デジタル・アーカイブ	東條佳緒里
主任	渡邊千尋	主事(歴史)	中川創喜	業務専門職	
主任	間宮千尋	[自然係]		[教育普及係]	
会計・人事労務	小野真紀	係長(動物)	説田健一	課長補佐兼係長	則竹裕嗣
業務専門職	梅村早夜花	主査(地学)	武藤正樹	課長補佐	星野友多
補助職員		主任(植物)	松久聖子	学芸業務専門職	千藤克彦
(事務補助)		〃(古生物)	高津翔平	〃	武藤由子
				管理業務専門職	坪井宏美
				〃	長田麻友子
				〃	福島江里菜
				〃	倉橋美紀子
				〃	鈴木奈おみ
				〃	宮崎亜優

(3) 異動(令和6年4月1日)

転出者 (退職者)	館長補佐 主査 主任	(森島勝博) 安江寿明 古田里香 浅野伸保 熊澤忍	転入者	館主 主任	長任 主任	丹羽和也 河手克巳 渡邊千尋 石井宏明

2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏名	現職名
有賀 信彦	中日新聞岐阜支社長
小野寺 茂樹	日本放送協会岐阜放送局長
春日井 恵子	岐阜市立鏡島小学校長
勝野 絵理奈	岐阜県PTA連合会委嘱会計
亀谷 みゆき	朝日大学経営学部教授
楠田 哲士	岐阜大学応用生物学部教授
清水 啓子	岐阜県博物館サポーター
高野 裕行	公募委員
谷重 耕平	岐阜新聞社取締役営業本部長兼営業局長
辻 公子	岐阜女子大学講師
長屋 メイ子	中部学院大学・中部学院大学短期大学部付属 桐が丘幼稚園長
◎古川 秀昭	前岐阜県美術館長

(開催状況)

月日 令和6年12月18日(水)

場所 岐阜県博物館 講堂

○次第

- (1) 岐阜県博物館の現状と取組みについて
 - (2) 議題: 博物館の新登録制度と岐阜県博物館
 - (3) その他(報告事項): 令和7年度の特別展・企画展計画について
- 主な提案・意見
- ・昨年度の協議会での提言内容については、真摯に対応いただいている。
 - ・博物館には収蔵品の良さに「触れて」知ってもらえる交流の場としての活用方法がある。
 - ・ポケット学芸員の多言語対応、収蔵標本のデジタル情報などデジタル化の方策を考えてほしい。
 - ・多くの人に満足いただける企画も大事だが、突き詰めて好きな人にも満足を得られる展示も提供してもらいたい。

◎会長 (令和7年3月1日現在 五十音順・敬称略)
任期は令和6年9月24日から令和8年9月23日

3 日誌抄

4. 2 人事異動に伴う辞令交付
- 6 MMG展示「ボタニカルアート手法による花と生き物の共演」(~5/12)
- 6 移動展「UKIYO-E 一多岐多様」(~6/9)
- 6 出張けんぱく教室「マーゴ きらきらジオードわりにちょうせん！」
- 10 学芸員なう「夏鳥がやってくる」(~7/3)
- 13 マーゴ岐大連携サテライト展示「絶滅から救え！ぎふの鳥ライチョウ」(~5/12)
- 20 企画展「返還30年 岐阜の赤羽刀総覧—美濃伝をたどる—」(~6/23)
- 20 出張けんぱく教室「マーサ21 化石レジンアクセサリーづくり」
- 23 ミニ企画展「旧徳山村の民具」(~9/29)
- 26 モレラ岐阜岐大連携サテライト展示「絶滅から救え！ぎふの鳥ライチョウ」(~5/23)
- 27 登録有形文化財旧宮川家住宅主屋一般公開
- 27 出張けんぱく教室「カラフルタウン岐阜 化石レプリカづくり」
- 28 学芸講座「関市の赤羽刀整備事業について」
- 29 けんぱく教室「ボタニカルアート体験 とうがらしを描こう」
5. 4 けんぱく教室「恐竜を造ろう」
- 4 けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」
- 6 出張けんぱく教室「モレラ岐阜 化石レジンアクセサリーづくり」
- 11 けんぱく教室「春の植物観察 植物の生活の工夫を知ろう」
- 11 「羽柴秀吉朱印状」一般公開(~6/23)
- 12 ミニ企画コーナー「美しい揚羽蝶」(~8/30)
- 12 けんぱく教室「新収蔵資料・羽柴秀吉の古文書を読む」
- 18 スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり
- 19 スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり
- 19 学芸講座「赤羽刀と日本刀の魅力 様々な視点から」
- 25 MMG展示「龍神降臨」(~6/30)
- 26 登録有形文化財旧宮川家住宅主屋公開記念講演会「旧徳山村民家について」
- 28 大雨警報発令による臨時休館
- 31 イオンモール土岐岐大連携サテライト展示「絶滅から救え！ぎふの鳥ライチョウ」(~7/4)
6. 1 けんぱく教室「収蔵庫探検 自然史標本の役割を知る」
- 9 学芸講座「現代サブカルチャーの中の昆虫」
- 11 出前講座「山県市富岡公民館 化石とり出し体験」
- 15 けんぱく教室「豊臣秀吉の古文書を読む」
- 16 morinosけんぱく協力プログラム「おとなと子どもの里山ナイフ教室 かやぶき古民家で森の木を削ってどうぶつを作ろう」
- 22 けんぱく教室「恐竜に色をぬろう」
- 23 三重県総合博物館交流企画「三重の円空 志摩地方に残る絵画作品を中心に」
- 27 岐阜県博物館・刀剣展示 関鍛冶伝承館企画展「孫六兼元」連携展示(~9/18)
7. 4 学芸員なう「ニワトリの卵をあつめよう」(~11/6)
- 13 F C岐阜コラボ！出張けんぱく教室「化石レプリカづくり」
- 19 特別展「ポケモン化石博物館」(~10/27)
- 20 サテライト展示「カラフルタウン岐阜 ティラノサウルス類の系譜」(~8/17)
- 24 教員のための博物館の日(~7/26)
- 28 特別展開連講演会「「ポケモン化石博物館」で学ぶ最新古生物学」
8. 1 アクティブG岐大連携サテライト展示「絶滅から救え！ぎふの鳥ライチョウ」(~8/28)
- 1 出前講座「藍見公民館 化石レジンアクセサリーづくり」
- 2 特別展「ポケモン化石博物館」来場者1万人達成
- 6 岐阜県文化財保護センター連携展示コーナー「恵那市毘沙門遺跡」(~4/20)
- 10 出張けんぱく教室「カラフルタウン岐阜 恐竜VR体験」
- 11 けんぱく教室「三葉虫を取り出そう」
- 11 出張けんぱく教室「アクティブG 恐竜VR体験」
- 15 小屋名精霊送り「チンチカカ」小屋名地区住民限定「博物館ご招待」
- 20 名古屋大学博物館・岐阜県博物館・岐阜大学連携企画「名古屋大学博物館 スポット展示 ライチョウ展」(~10/19)
- 21 博物館実習(~8/25)
- 25 特別展「ポケモン化石博物館」来場者3万人達成
- 25 特別展開連講演会「サメ化石研究最前線」
- 31 MMG展示「マンガコレクション ほぼ半世紀展」(~9/29)
- 31 ミニ企画コーナー「美しい鉱物の世界」(~12/15)

- 31 大雨警報発令による臨時休館
- 9. 13 イオンモール各務原インター岐大連携サテライト展示「絶滅から救え！ぎふの鳥ライチョウ」(～9/23)
 - 15 学芸講座「デスマスチルス類の進化」
 - 22 けんぱく教室「三葉虫を取り出そう」
 - 23 出張けんぱく教室「イオンモール各務原インター ライチョウのレジニアクセサリーづくり」
- 10. 1 ミニ企画展「電話の歴史」(～4/11)
 - 1 サテライト展示「カラフルタウン岐阜 美しい鉱物の世界」(～10/26)
 - 5 特別展「ポケモン化石博物館」来場者5万人達成
 - 6 学芸講座「私たちが生きものの中の私として生きる—幸せと豊かさを求めて—」
 - 8 マーサ21「ポケモン化石博物館 ポスタークイズ」(～10/27)
 - 9 岐阜県副知事視察
 - 12 MMG展示「岐阜提灯 絵付け展」(～11/7)
 - 12 けんぱく教室「秋の植物観察 植物の生活の工夫を知ろう」
 - 19 オータムフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり
 - 20 オータムフェスティバル けんぱくワークショップ 化石レプリカづくり
 - 22 岐阜県副知事視察
 - 15 けんぱく教室「秋みつけ 秋の植物やきのこをみつけよう」
 - 26 けんぱく教室「秋のきのこや植物を観察しよう」
 - 26 morinosけんぱく協力プログラム「おとなと子どもの里山ナイフ教室 ドウヌキを模したペン立て、ミニトレー作り」
- 11. 3 岐阜～ふるさとを学ぶ日(無料開放日)
 - 3 けんぱく教室「ミニ提灯絵付け体験」
 - 7 学芸員なう「大蛇の卵」(～1/13)
 - 9 博物館・文化財保護センター連携企画展「寺院跡からみた岐阜の歴史—古代・中世寺院跡総合調査の成果より—」(～1/13)
 - 10 けんぱく教室「古代の寺跡を歩く 国史跡弥勒寺跡見学会」
 - 16 学芸講座「日本近世史を読み解く」
 - 16 morinosけんぱく協力プログラム「森学び・アートワークショップ」
 - 17 けんぱく教室「恐竜を造ろう」
- 17 けんぱく教室「恐竜を組み立てよう」
- 23 企画展関連報告会「岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告会」
- 30 MMG展示「古裂(こぎれ)いろいろ—「集める」と「楽しむ」—」(～1/13)
- 30 けんぱく教室「収蔵庫探検 自然史標本の役割を知る」
- 30 出前講座「各務原市川島ライフデザインセンター 化石レプリカづくり」
- 12. 1 morinosけんぱく協力プログラム「森学び・アートワークショップ」
 - 3 MM棟ラウンジ展示「kid's考古学新聞コンクール」(～12/28)
 - 3 出前授業「山県市富岡公民館 化石とり出し体験」
 - 7 企画展関連講演会 シリーズ講座「岐阜県山中寺院跡についてシリーズ1」
 - 10 けんぱく×関市連携展示「日竜峯寺・小瀬鶴飼・円空」(～1/13)
 - 14 クリスマスナイトミュージアム
 - 16 恐竜のすず払い
 - 17 出前授業「高山市江名子小学校 化石とり出し体験」
 - 21 企画展関連講演会 シリーズ講座「岐阜県山中寺院跡についてシリーズ2」
 - 22 令和6年度「清流の国ぎふ 親子環境学習脱炭素社会岐阜を支える人づくりツアー」冬コース
岐阜県博物館バックヤード見学&水生昆虫(絶滅危惧種)観察会
ミニ企画コーナー「爬虫類の卵殻」(～1/13)
 - 24 博物館・図書館連携企画展「美しい鉱物の世界」(～2/19)
 - 1. 5 けんぱく教室「ちょっと昔の正月遊び」
 - 10 大雪警報発令による臨時休館
 - 11 JAFデーin岐阜県博物館「化石体験教室&昔遊び」
 - 12 学芸講座「徳川將軍家献上米「御膳粉」の歴史と復活」
 - 14 施設設備改修に伴う臨時休館(～3/17)
 - 26 出張けんぱく教室「ハートフルフェスタ2025 化石レプリカづくり」
 - 3. 8 出張けんぱく教室「たじみこどもフェスタ 化石レプリカづくり」
 - 18 企画展「雑草とよばないで」(～6/15)
 - 18 ミニ企画コーナー「新収蔵資料紹介」(～5月上旬)
 - 18 学芸員なう「しにものくらぶ とは」(～6/4)
 - 19 福井県立恐竜博物館との博物館連携の締結

4 実施事業の概要

「県民の皆様が岐阜県の自然や歴史・文化に親しみ、誇りをもつことができる博物館」を運営目標として、特別展、企画展、移動展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。特別展のテーマに関わるその道の研究者による講演会など各種講演会・講座、参加体験型の催し物、学芸員による出前授業や講師派遣など多くの事業を展開した。特に、特別展「ポケモン化石博物館」を開催し、7万人以上の方々に来館いただけた。

(1) 展示活動

特別展などの展示活動をP12の表のとおり実施した。

(2) 調査研究活動

人文分野では、令和6・7年度の特別展・企画展などに関連した県内外資料の調査を行った。自然分野では、県内外資料の調査に加え、百年公園の里山の動植物生態調査(モニタリング1000)、県内植物分布調査、令和6・7年度の特別展に向けた県内外の資料調査などを行った。

マイ・ミュージアムでは、マイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

(3) 資料収集活動

人文分野では、県内各地で資料の所在調査を実施するとともに、歴史、

美術工芸資料を資料として加えた。自然分野では、県内外の動植物や古生物、岩石鉱物資料を資料として加えた。

(4) 教育普及活動

平成28年度から続いている「教員のための博物館の日」は、本年度は7月24日(水)～7月26日(金)に3日間実施した。わくわく体験は毎月第2、第4日曜日を中心に開催し、展覧会に合わせた「ものづくり工作」や「化石レプリカづくり」体験を行った。

団体等の利用では、学校団体向けの生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。百年公園の改修工事のため「秋みつけ」の活動場所が変更になったが、博物館サポーターの支援を得て充実した学びを提供した。また、臨時休館中にはリモート授業を積極的に広報し、「恐竜の話」や「輪中の話」を行うことで、館外利用者数を増やすことができた。

博物館サポーターの活動では、105名が登録し、活動内容にあわせて11の活動グループを設け、希望するグループに所属して活動を行った。人文催事グループは今年度公開を再開した登録有形文化財旧宮川家住宅土屋の準備作業を継続的に実施した。

5 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文展示室では、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示した。特別展示室または企画展示室においては、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示した。自然展示室1では、郷土の自然の概要を系統的に展示した。自然展示室2では、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示した。	—
移動展 「UKIYO-E ー多岐多様ー」 (会場：飛騨高山まちの博物館)	4/6 (土) ～ 6/9 (日)	江戸時代に庶民の娯楽や世相を紹介し人気を博した浮世絵は、開国によって国外にも流通しヨーロッパ画壇にも大きな影響を与えた。その芸術的価値は高く評価され、現在も日本を代表する文化の一つとして位置づけられている。 今回は岐阜県博物館の所蔵する作品のうち、浮世絵に描かれた多様な岐阜(飛騨・美濃)の魅力を紹介した。	50,681
企画展 「返還 30年 岐阜の赤羽刀総覧 ー美濃伝をたどるー」	4/20 (土) ～ 6/23 (日)	接收刀剣類、いわゆる「赤羽刀」返還からまもなく30年になることから、岐阜県内の赤羽刀を総覧する展覧会を開催した。赤羽刀とは、第二次世界大戦後、日本の武装解除の一環でGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)に接收された後、文化財として返却され全国の公立博物館等に無償譲渡された日本刀である。 本展は、関市・岐阜県博物館の整備済み赤羽刀を主に、美濃鍛冶の始まりである西郡・赤坂鍛冶から最盛期の関鍛冶、さらに幕末の美濃刀まで、約70振りを展示した。また、関市において同じタイトルを冠した連携展覧会を同時開催し、岐阜県博物館を含む市内3会場で、併せて100振りを越える美濃ゆかりの赤羽刀が一望することができた。	8,210
特別展 「ポケモン化石博物館」	7/19 (金) ～ 10/27 (日)	人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するふしぎな生き物「ポケモン」にはカセキから復元されるポケモン(以下「カセキポケモン」と呼ぶ)がいくつか知られている。この展示は、「カセキポケモン」と私たちの世界で見つかる「化石・古生物」を見比べて、似ているところや異なっているところを発見し、古生物学について楽しく学んでいただくものである。 来館者はポケモンの世界の「カセキ博士」とお手伝いの「発掘ピカチュウ」、私たちの世界の博士たちの案内で展示をめぐり、それぞれの世界の「かせき」をじっくり見比べることができた。 © 2024 Pokémon. © 1995-2024 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.	65,384
博物館・文化財保護センター連携企画展 「寺院跡からみた岐阜の歴史 ー古代・中世寺院跡総合調査の 成果よりー」	11/9 (土) ～ 1/13(月・祝)	岐阜県下では、令和4年度まで実施された岐阜県古代・中世寺院跡総合調査によって、1,918か寺の古代・中世寺院が確認されている。一方、各地で古代・中世寺院跡を対象とした発掘調査が実施されている。それらの調査によって、寺院跡からみた県内の古代・中世の様子が少しずつ明らかになってきた。 本連携企画展では、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査の成果報告と、県内の主な寺院跡の発掘調査の出土品を展示し紹介した。	5,902
博物館・図書館連携企画展 「美しい鉱物の世界」	1/5 (日) ～ 2/19 (水)	地球が誕生し46億年、この長い地球の営みで生み出された鉱物は大地の至る所に眠っている。これらの鉱物は資源として活用されるだけではなく、その美しさから装飾に使われ、多くの鉱物が産出してきた。 今回の展示では、当館がこれまで収集したものの中から、きれいな色や不思議な形の鉱物、地球をつくるもととなった隕石などを厳選し、展示した。	7,606
企画展 「雑草とよばないで」	令和6年度 3/18 (火) ～ 令和7年度 6/15 (日)	田や畑、道端、空き地などに繁茂し、厄介ものとして見向きもされない植物たち。雑草とよばれるのは、一般的にそのような植物である。しかしながら、個々の植物に注目すると、それぞれに名前があり、美しい花を咲かせ、巧みに生きている。雑草が茂った場所は、見方を変えれば、それぞれの季節にその場所特有の野生植物が咲き乱れるお花畑である。そんな場所に虫たちは集まり、生きもの同士が関係し合う、自然の営みが成り立っている。 本企画展では、雑草とよばれる植物を通して、植物の生き方や、生きもの同士のつながり、人間生活との関わりを紹介した。	1,952 ※3月31日まで
マイミュージアムギャラリー	(P18 参照)	「ボタニカルアート手法による花と生き物の共演」をはじめ、5回の展示を実施した。	—

※1/14(火)～3/17(月)は、施設設備改修に伴う臨時休館(学校団体の受入れや、出張授業及びリモート授業は実施)

企画展

「返還 30 年 岐阜の赤羽刀総覧 —美濃伝をたどる—」

1 開催期間

令和 6 年 4 月 20 日（土）～6 月 23 日（日）

2 主催

主催：岐阜県博物館、中日新聞社

後援：NHK岐阜放送局

3 趣旨

接収刀剣類、いわゆる「赤羽刀」の返還（1995 年）からまもなく 30 年を迎えることから、岐阜県内の赤羽刀を総覧する展覧会を開催した。赤羽刀とは、第二次世界大戦後、日本の武装解除の一環で GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）に接収された後、紆余曲折を経て、文化財（美術工芸品）として返却され、後に全国の公立博物館等に無償譲渡された日本刀である。当館が所在する関市は現在も多くの刀剣関係の職人が活躍する中世以来の刀剣産地であることから全国最多の 480 点を、当館も 168 点の赤羽刀を受領しており、岐阜県は全国最多の赤羽刀を保有している。

本展では、関市と当館の整備済み赤羽刀を主に、岐阜市・大垣市からも借用し、美濃鍛冶の始まりである西郡・赤坂鍛冶から最盛期の関鍛冶、さらに幕末の美濃刀まで、71 振りを展示した。また、関市においても連携展を同時開催し、当館を含む市内 3 会場で、併せて 100 振りを越える美濃ゆかりの赤羽刀が出陳され、古くは室町時代の兵変から先の戦争まで、あまたの戦乱を潜り抜け、多くの先人の努力で伝世された郷土刀の一大コレクション群を一覧するまたとない好機となった。

4 展示構成

岐阜県博物館が受領した赤羽刀 168 点のうち研磨整備済み 81 点から 17 点、関市所蔵 50 点、岐阜市所蔵 3 点、大垣市所蔵 1 点の計 71 点を展示した。別に、人文展示室刀剣コーナーで令和 5 年度新規研磨整備 6 点を同時期（3 月 21 日～6 月 19 日）に初公開した。

併せて、関市・関鍛冶伝承館企画展「美濃伝の継承者たち：岐阜の赤羽刀総覧」（会期 4 月 20 日～6 月 23 日）では、関鍛冶伝承館で岐阜県博物館蔵 18 点、関市蔵 17 点、わかくさ・プラザで関市蔵 10 点の計 45 点が展示され、この時期、両企画展で 116 点、岐阜県博物館常設展示を含めると 122 点（県内保有の 6 割弱）の赤羽刀を展示し、まさに「総覧」となった。

岐阜県博物館企画展では、古刀と新刀・新々刀を特別展示室と企画展示室の 2 室に分けて概ね時代順に展示した。主な展示作品

は以下の通りである。

- (1) 美濃の刀工—古刀—
短刀 銘 兼氏（岐阜市歴史資料館蔵）
刀 銘 兼音（大垣市郷土館蔵）
- (2) 美濃の刀工—新刀—
脇差 銘 大兼道（関鍛冶伝承館蔵）
- (3) 美濃・尾張の刀工—新々刀—
刀 銘 美濃国住人藤原永貞／文久四歳二月於東都作之（岐阜県博物館蔵）
- (4) その他の刀工—新々刀—
脇差 銘 平安住雲仙子貞秀作／文久四年二月吉日（関鍛冶伝承館蔵）



展示の様子（特別展示室 古刀）



展示の様子（企画展示室 新刀・新々刀）

5 関連事業

- (1) 学芸講座
4 月 28 日（日）「関市の赤羽刀整備事業について」
講師：江西奈央美（関鍛冶伝承館学芸員） 参加 54 人
5 月 19 日（日）「赤羽刀と日本刀の魅力：様々な視点から」
講師：福井款彦（三重県・愛知県銃砲刀剣類登録審査委員）
参加 71 人
- (2) コラボ企画「スタンプラリー」
①岐阜県博物館企画展「岐阜の赤羽刀総覧：美濃伝をたどる」、②関鍛冶伝承館企画展「美濃伝の継承者たち：岐阜の赤羽刀総覧」、③わかくさ・プラザのサテライト展示の 3 会場でスタンプラリーを実施

特別展 「ポケモン化石博物館」

1 開催期間

令和6年7月19日（金）～令和6年10月27日（日）

2 主催等

主催：岐阜県博物館、国立科学博物館

企画協力／ポケモン展示品制作：株式会社ポケモン

協力：三笠市立博物館、群馬県立自然史博物館、豊橋市自然史博物館、島根県立三瓶自然館

3 趣旨

人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するふしぎな生き物「ポケモン」にはカセキから復元されるポケモン（以下「カセキポケモン」と呼ぶ）がいくつか知られています。

この展示は、「カセキポケモン」と私たちの世界で見つかる「化石・古生物」を見比べて、似ているところや異なっているところを発見し、古生物学について楽しく学んでいただくものです。

ポケモンの世界の「カセキ博士」とお手伝いの「発掘ピカチュウ」、私たちの世界の博士たちの案内で展示をめぐり、それぞれの世界の「かせき」をじっくり見比べてみましょう！

4 展示構成

みどころ1

古生物と「カセキポケモン」のイラストから、似ているところ、違うところを探してみよう！

【主な展示物】

ガチゴラスとティラノサウルスのイラスト、オムスターとアンモナイトのイラスト、プテラとプテラノドン of イラスト、ほか

みどころ2

「カセキポケモン」の実物大骨格想像模型が登場！古生物の標本と、「カセキポケモン」の実物大骨格想像模型を比べてみよう！

【主な展示物】

ガチゴラスの実物大骨格想像模型とティラノサウルスの複製頭骨、トリデプスの実物大骨格想像模型とトリケラトプスの頭骨模型、ほか

みどころ3

「カセキポケモン」と古生物の骨格を比べてみよう！「カセキポケモン」の骨格想像図はポケモン化石博物館が初公開。カセキから復元される「カセキポケモン」の骨はどのようなのかな？※「カセキポケモン」の骨格図は想像図です。

【主な展示物】

ガチゴラスの骨格想像図とティラノサウルスの骨格図ほか

5 関連事業

(1) 講演会 「ポケモン化石博物館」で学ぶ最新古生物学

日時：7月28日（日）13：30～15：00

講師：相場大佑（深田地質研究所・研究員）

(2) 講演会 サメ化石研究最前線

日時：8月25日（日）13：30～15：00

講師：高菜祐司（群馬県立自然史博物館・学芸員）

(3) 講演会 デスモスチルス類の進化

日時：9月15日（日）13:00～15:00

講師：甲能直樹（国立科学博物館地学研究部生命進化史研究グループ・グループ長）

(4) けんぱく教室「三葉虫を取り出そう」

日時：8月11日（日・祝）・9月22日（日・祝）各13:00～15:00

講師：当館学芸員



展示の様子



団体見学の様子

博物館・文化財保護センター連携企画展 「寺院跡からみた岐阜の歴史 —古代・中世寺院跡総合調査の成果より—」

1 開催期間

令和6年11月9日(土)～令和7年1月13日(月・祝)

2 主催

主催：岐阜県博物館 岐阜県文化財保護センター

岐阜新聞社、岐阜放送

後援：NHK岐阜放送局

3 趣旨

岐阜県下では、平成30年度から令和4年度にかけて実施された岐阜県古代・中世寺院跡総合調査によって、1,918か寺の古代・中世寺院が確認された。一方、各地で開発や適切な保護を目的として、古代・中世寺院跡を対象とした発掘調査が実施されている。それらの調査によって、寺院跡からみた県内の古代・中世の様子が少しずつ明らかになってきた。

本連携企画展では、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査の成果報告と、県内の主な寺院跡の発掘調査の出土品を展示し、古代・中世寺院跡から岐阜の歴史に思いをはせる機会とした。

4 展示構成

第1章 岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告

本章では、岐阜県文化財保護センターによる岐阜県古代・中世寺院跡総合調査の調査成果と、同センターがこれまでにを行った寺院跡の発掘調査の成果を紹介した。

【展示遺跡】寿楽寺廃寺跡(飛騨市)、旧横蔵寺跡(揖斐川町)、高畑遺跡(池田町)、寺屋敷遺跡(揖斐川町)、日焼遺跡(高山市)

第2章 発掘された岐阜の古代・中世寺院跡

本章では、発掘調査によって明らかとなった県内各地の主な古代・中世寺院跡の調査成果をもとに、時代ごとの様相を跡付けた。

1 古代 —寺院の登場と広がり—

飛鳥時代にはじめて岐阜の地に寺院が建立された。その後、奈良時代には国分寺・国分尼寺の建立と僧侶の活動の本格化、平安時代にかけて山林修業の場としての山寺が展開していった。

【展示遺跡】宮処寺跡・宮代廃寺跡(垂井町)、山田寺跡(各務原市)、杉崎廃寺跡(飛騨市)、美濃国分寺跡・国分寺遺跡(大垣市)、石橋廃寺跡・光寿庵跡(高山市)

【そのほか】百万塔(当館)

2 中世 —「一山寺院」の展開と守護の菩提寺—

鎌倉時代から室町時代にかけて山上に大規模な伽藍を築く「一山寺院」が造営のピークを迎えた。また、室町時代には美濃国守

護土岐氏など武家が帰依した禅宗寺院が大きく展開した。

【展示遺跡】桜堂薬師遺跡・笹山遺跡(瑞浪市) 大威徳寺跡(下呂市) 承国寺跡・鶴沼古市場遺跡(各務原市)

【そのほか】正法眼蔵(当館)

3 寺院の半生 —弥勒寺跡—

飛鳥時代に建立され、2度の廃絶の危機を乗り越えて、今も法灯を繋ぐ弥勒寺跡(関市)を取り上げて寺院の半生を探った。

【展示遺跡】弥勒寺跡(関市)



展示の様子

5 関連事業

(1) 報告会「岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告会」

講師：菱田哲郎(京都府立大学教授)・梶原義実(名古屋大学教授)・安江太佑(岐阜県文化財保護センター)

日時：11月23日(土・祝) 13:00～15:40

終了後、企画展展示解説。

(2) シリーズ講座「岐阜県内山中寺院跡について」

【第1回】

講師：近藤正枝(岐阜県文化財保護センター)

日時：12月7日(土) 13:30～15:00

【第2回】

講師：浅井飛音(岐阜県文化財保護センター)

日時：12月21日(土) 13:30～15:00

(3) けんぱく教室「古代の寺跡を歩く 国史跡弥勒寺跡見学会」

講師：森島一貴(関市文化財保護センター)

日時：11月10日(日) 13:30～15:00

会場：国史跡・弥勒寺官衙遺跡群(関市池尻)

1 開催期間、会場

期間：令和6年4月6日（土）～6月9日（日）
 会場：飛騨高山まちの博物館 2階 特別展示室
 〒506-0844 高山市上一之町75番地

2 主催、共催、後援

主催：岐阜県博物館
 共催：高山市教育委員会

3 趣旨

江戸時代に庶民の娯楽や世相を描き人気を博した浮世絵は、開国によって国外にも流通しヨーロッパ画壇にも大きな影響を与えた。その芸術的価値は高く評価され、現在も日本を代表する文化の一つとして位置づけられている。

浮世絵には美人画や芝居絵など多数のジャンルがあり、江戸や大坂の文化以外にも街道・宿場町を中心とした地方も題材として描かれ、その情報は流行となり全国各地に広がりを見せた。

現在の岐阜県にあたる飛騨や美濃は、「飛山濃水」といわれる豊かな自然に恵まれた名所や木曾街道を中心とした宿場町が描かれるほか、織田信長や豊臣秀吉など岐阜の歴史に関わりのある武将も芝居絵・武者絵に描かれ人々に親しまれてきた。本展示では、岐阜県博物館の所蔵する作品の展示をとおして浮世絵に描かれた多様な岐阜（飛騨・美濃）の魅力を知っていただく機会とした。

4 展示構成

(1) LANDSCAPE —飛騨・美濃の風景—

宿場町や飛騨・美濃の名所、地場産業など飛騨や美濃の特徴を表した浮世絵を紹介した。

【主な展示作品】

歌川広重 木曾街道六拾九次之内 御嶽
 葛飾北斎 諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし
 溪斎英泉 岐阻路ノ駈可渡長柄川鵜飼船 など



展示の様子（1）

(2) CULTURE —相撲・歌舞伎—

江戸時代に庶民に流行した文化のうち相撲・歌舞伎に関する浮世絵を紹介した。

【主な展示作品】

落合芳幾 大日本大相撲勇力関取鏡
 三代歌川豊国 白真弓肥太右衛門
 三代歌川豊国 難有御江戸景清
 豊原周義 塩冶判官大星由良之助 ほか

(3) SAMURAI —戦乱の世の武将たち—

「英雄」として浮世絵に描かれた武将のうち、岐阜の歴史に関わりのある武将を描いた浮世絵を紹介した。

【主な展示作品】

月岡芳年 大日本名将鑑 織田右大臣平信長
 歌川国芳 太平記英勇伝 登喜氏
 月岡芳年 豊臣昇進録 大徳寺
 月岡芳年 新形三十六怪撰 蘭丸蘇鉄之怪ヲ見ル図 ほか



展示の様子（2）

5 関連事業

(1) ギャラリートーク

日時 4月29日（月・祝）（13:30～14:00）

5月18日（土）（13:30～14:00）

会場 飛騨高山まちの博物館 2階 特別展示室

博物館・図書館連携企画展 「美しい鉱物の世界」

1 開催期間、会場

期間：令和7年1月5日（日）～2月19日（水）

会場：岐阜県図書館 2階 企画展示室II

2 主催

主催：岐阜県博物館・岐阜県図書館

3 趣旨

地球が誕生して46億年、この長い地球の営みで生み出された鉱物は、大地の至る所で眠っている。これらの鉱物は、資源として経済の発展に大きく貢献するだけでなく、その美しさから装飾にも使われ、多くの人々を魅了してきた。鉱物（岩石）には色彩が豊かなものや、結晶構造がきれいなもの、鉱石（金属を得るために使われる鉱物・岩石）として使われているもの等がある。

今回の連携企画展では、地下に眠る貴重で魅力的な当館が所有する約70点の鉱物と関連する資料、書籍を紹介した。また、展示を通して自然がつくり出す美しさを知り、鉱物への関心を高める機会とした。

4 展示構成

第1章 鉱物ができる

(1) 鉱物ができる

(主な展示資料：火成岩、ペグマタイト、熱水脈、スカレン、変成岩、風化・堆積、それぞれの場所のできる主な鉱物)

(2) 地球ができる

(主な展示資料：美濃隕石レプリカ、長良隕石1・2号レプリカ、笠松隕石レプリカ、リュウグウサンプルレプリカ、テクタイト、モルダバイト等)

(3) トピック

(主な展示資料：SORA-Q)



展示の様子（1）

第2章 美しい鉱物の世界

(1) 美しい鉱物の世界

(主な展示資料：ペンタゴナイト、蛍石、魚眼石、天青石、灰クロム柘榴石、ビビアナイト、自然金等)

(2) 美しい氷晶の世界

(主な展示資料：日本式双晶、ハーキマーダイヤモンド、黒水晶、煙水晶、紫水晶、黄水晶、紅水晶等)



展示の様子（2）

第3章 岐阜県の石・鉱物

2016年日本地質学会によって各都道府県の石・鉱物が選定された。これによって選定された岐阜県の石、チャートと岐阜県の鉱物、灰鉄輝石を紹介した。



展示の様子（3）

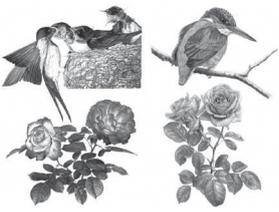
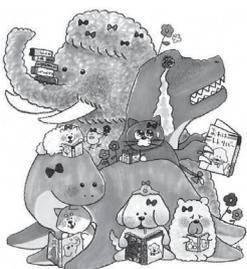
5 関連事業

ギャラリートーク

令和7年1月19日（日）及び2月9日（日）の2回、13:30から30分程度ギャラリートークを実施した。

マイミュージアムギャラリー

1 展示内容

	展示会	展示内容	
1	<p>ボタニカルアート手法による 花と生き物の共演 出展者 加古川 利彦 令和6年4月6日(土) ～5月12日(日) 観覧者数: 5,865人</p>	<p>ボタニカルアートとは、「背景を描かない」「人工物を描かない」「実物大で描く」「特徴を正確に描く」という4つのルールに従って描いた絵を意味する。今回は、植物に適用されるボタニカルアートの手法を生物にも取り入れ、県鳥ライチョウや関市の鳥のカワセミを中心に、約80点が展示された。また、食材として知られるとうがらしの書き方を通して、水彩画絵の具の幅広い表現方法や絵を描く楽しさを感じてほしいという思いから、ボタニカルアートの魅力を知ることができるワークショップも開催された。</p>	
2	<p>龍神降臨 出展者 森田 豊裕 令和6年5月25日(土) ～6月30日(日) 観覧者数: 3,135人</p>	<p>令和6年の干支である「辰」にちなみ、夜叉ヶ池伝説の継承に取り組む森田氏を中心となり、展示を企画した。夜叉ヶ池伝説とは、揖斐川町坂内地区で日照りが続き、郡司が蛇に雨乞いをしたところ雨が降ったという伝説である。本展示では、夜叉ヶ池伝説道中祭りで使われていた全長2.1mの夜叉龍を中心に、夜叉ヶ池伝説に関する資料や掛け軸などを約60点が展示された。</p>	
3	<p>マンガコレクションほぼ半世紀展 出展者 木下 和茂 令和6年8月31日(土) ～9月29日(日) 観覧者数: 8,835人</p>	<p>子どもの頃から読んでいたマンガを捨てないでいたら、コレクターになっていた木下氏。ほぼ半世紀(約50年)の集大成となった今回の展示では、今では見なくなったコミックスやサイン本を中心に、サイン会や懸賞で当選したサイン色紙、原画原稿、サイン入り複製原画をコレクションの中から厳選した。マンガ文化を後世に残したいという思いのもと、マンガ本約1500冊、サイン色紙約150枚が展示された。</p>	
4	<p>岐阜提灯 絵付け展 出展者 野原 明美 令和6年10月12日(土) ～11月17日(日) 観覧者数: 2,859人</p>	<p>「岐阜提灯」とは、江戸時代に始まり、約400年の歴史がある県特産の伝統工芸品である。絵付け展にちなみ、絵付け道具やアトリエ風景の写真も紹介された。伝統的な置き型提灯である「大内行灯」や、プーケンピリアやプルメリアなど野原氏が選んだ花を描いた「現代行灯」など約20点が展示された。また、岐阜提灯の絵付けを身近に感じてもらえるよう、手のひらサイズの提灯に水彩絵具での絵付けをできる体験も開催された。</p>	
5	<p>古裂いろいろ -「集める」と「楽しむ」- 出展者 内藤 雅子 令和6年11月30日(土) ～令和7年1月13日(月・祝) 観覧者数: 2,699人</p>	<p>古裂とは、古い布の切れ端のことであり、内藤氏はライフワークとして20数年前より全国へ旅をしながら骨董市で古裂の収集を行ってきた。昭和以前の木綿古布を中心に、収集したものは見本帳やパッチワークなどとして保存した。今回の展示では、木綿古布の縞帳、見本帳といった「集める」という観点と、袋物、更紗といった古裂を利用して「楽しむ」という観点から約200点が展示された。</p>	

2 出展者による催し物等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、展示期間中には出展者が主催者となった催し物や展示解説を行った。

(1) 第1回展示

ボタニカルアート手法による 花と生き物の共演

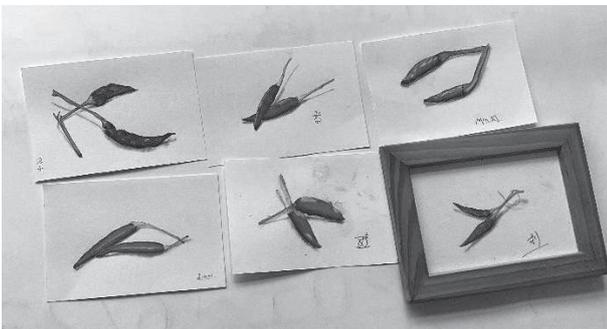
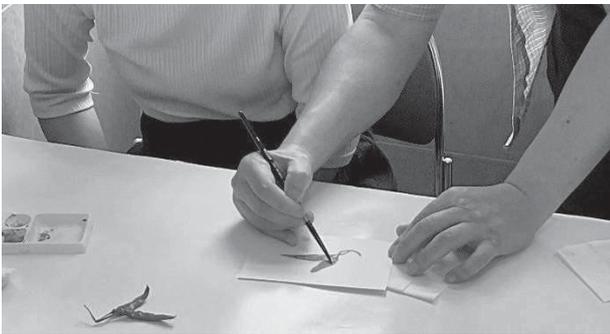
・ボタニカルアート体験 ～とうがらしを描こう～

日時：令和6年4月29日（月・祝）

午前の部 10：00～12：00 午後の部 13：00～15：00

講師：加古川 利彦（ボタニカルアート作家）

会場：マイミュージアムギャラリーラウンジ



(2) 第4回展示

岐阜提灯 絵付け展

・ミニ提灯絵付け体験

日時：令和6年11月3日（日・祝）13：00～15：00

講師：野原 明美

（岐阜提灯 火袋部門 絵付け伝統工芸士 岐阜提灯伝統工芸士会会長）

会場：マイミュージアムギャラリーラウンジ



(3) 展示解説

各展示において、出展者が定期的に在廊し、観覧者に展示解説を行った。



第2回展示の様子



第3回展示の様子



第5回展示の様子

6 調査研究活動

〔調査研究〕

(1) 人文部門

① 考古分野

展示にかかわる調査研究

令和6年度博物館・文化財保護センター連携企画展「寺院跡からみた岐阜の歴史 ―古代・中世寺院跡総合調査の成果より―」の開催に向け、『岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告書』の成果に基づき、県内の主な古代・中世寺院跡の発掘調査成果を整理し展示構成に活かした。

また今後の展示企画のため調査研究を行った。おもに古墳～古代の資料を対象とした。

② 歴史分野

ア 企画展等にかかわる調査研究

令和6年度連携企画展の開催に向け、館蔵資料の調査研究を行った。翌年度以降の展示に向けて関連資料の調査を行い、今後の調査研究及び展示の方向性を検討した。

新収蔵資料の調査研究を行い、その成果を『岐阜県博物館調査研究報告』第45号に掲載した。

イ 常設展にかかわる調査研究

企画展開催期間中に適宜展示替えを行い、企画展テーマにも関連する館蔵資料の展示・紹介を行った。

・新収蔵資料・羽柴秀吉朱印状の公開

令和6年5月11日(土)～6月23日(日)

③ 民俗分野

ア 常設展示にかかわる調査研究

以下の通り、昭和の居間、人文展示室内の展示替えを行った。

(ア) 昭和の居間コーナー

四季に応じた資料の展示替えを行った。

(イ) 昭和の居間前のケース

「徳山村関連展示(民具と旧徳山村について)」4月～6月

「電話機と携帯電話の発達史」7月から現在

(ウ) 人文展示室内

太平洋戦争関連の資料調査を行い、民俗コーナーにおいて戦争資料の展示を行った。

イ 移動展にかかわる調査研究

来年度4月から始まる高山移動展「伝統、そして傑作 ―岐阜県博物館コレクションを中心に―」にむけての準備(資料調査、借用)を進めている。

経済産業大臣指定の伝統的工芸品、ユネスコ無形文化遺産登録の行事や民俗芸能、指定文化財に関連する工芸品・技術、飛騨の匠の作品など、さまざまな岐阜の“伝統”に関する資料を展示する。

ウ 旧徳山村民家(旧宮川家住宅)整備

昨年度末で整備事業が完了し、6年度4月より9年ぶりに内部の一般公開を再開した。4月26日(金)には、開場式を実施して、関商工の生徒約20名にも見学いただいた。

登録有形文化財(建造物)・旧宮川家住宅主屋ということで、施設の公開、活用に努め、今年度は学校の見学や県立森林文化アカデミーと連携して、体験事業を計3回(10月26日、11月16日、12月1日)ほど実施した。

来年度のけんぱく教室や学校体験プログラムで、現在以上の活用ができるように準備を進めている。

④ 美術工芸分野

ア 移動展にかかわる調査研究

令和6年度岐阜県博物館移動展・飛騨高山まちの博物館春の特別展「UKIYO-E -多岐多様-」を令和6年4月6日(土)～6月9日(日)まで開催した。岐阜県博物館で収蔵している浮世絵全248点のうち、80点を紹介した。

イ 常設展にかかわる調査研究

企画展開催期間中に適宜展示替えを行い、館蔵資料の展示・紹介を行った。

・関市連携展示「日竜峯寺・小瀬鶴飼・円空」

令和6年12月10日(火)～令和7年1月13日(月・祝)

ウ 企画展等にかかわる研究調査

令和8年度企画展の準備

令和8年度に開催予定の美術工芸担当の展示の企画立案に向け、調査を進めている。

(2) 自然部門

① 動物分野

ア 主な研究テーマ

(ア) 里地里山に生息する動物の生態について

(イ) 戦前の鳥獣採集家及び博物学標本商について

イ 原著論文等

説田健一. 2025. 岐阜市で見つかったアカボシゴマダラ *Hestina assimilis assimilis* (チョウ目, タテハチョウ科) について. 岐阜県博物館調査研究報告 45:1-2.

千藤克彦・説田健一. 2025. 岐阜県博物館館内で採集されたヒメタイコウチ *Nepa hoffmanni* Esaki (半翅目:タイコウチ科) について. 岐阜県博物館調査研究報告 45:3-5.

南本有紀・楠田哲士・宇治原妃美子・説田健一. 2025. サテライト展示「絶滅から救え! ぎふの鳥ライチョウ」における岐阜大学学生レポート分析による来場者調査. 岐阜県博物館調査研究報告 45:6-23.

ウ 館内サークル活動の企画及び運営

ダチョウ組(動物標本作製サークル)、岐阜の魚研究会、クモ研究会、モニタリングサイト1000里地調査グループ、昆虫標本整理グループの運営

エ 他団体との調査活動

(ア) ウシモツゴを守る会(ウシモツゴの生息と保護にかかわる調査. 岐阜県水産研究所、世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ、関市、美濃市、NPO法人ふるさと自然再生研究会と共同)

② 植物分野

ア 主な研究テーマ

(ア) 里地里山に生育する植物の生態

(イ) 企画展・常設展に関わる調査研究

イ 館内サークル活動の企画及び運営

(ア) モニタリングサイト1000里地調査グループ(植物)

(イ) 植物標本整理グループ

ウ 他団体との調査活動

(ア) 岐阜県教育委員会(教師のための研修講座実施(博物館活用講座))

③ 地学・古生物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) タイ王国産恐竜足跡化石の足跡学的研究
- (イ) 福島県産恐竜足跡化石の足跡学的研究
- (ウ) 岐阜県における手取層群の脊椎動物化石調査
- (エ) 岐阜県における古生界動物化石調査
- (オ) 岐阜県における瑞浪層群の化石調査
- (カ) 長野県における来馬層群化石調査

イ 原著論文等

高津翔平・今井拓哉・河部士一郎・服部創紀・菌田哲平・湯川弘一. 2025. 岐阜県飛騨市神岡地域から下部白亜系初となる脊椎動物骨化石の発見と堆積年代の推察. 日本古生物学会第174回例会(要旨): p.30.

田中康平・高津翔平. 2024. 「大蛇の卵」と伝えられた恐竜類卵化石の分類学的帰属とその産地の考察. 化石(116): 69-75.

ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) 県内外産化石クリーニング作業(ジオグループ)
- (イ) 県内の化石産地における化石採集
- (ウ) 収蔵化石標本の整理

エ 他団体との調査活動

- (ア) 筑波大学との古生物学的共同研究
- (イ) タイ国鉱産資源局地質調査所(DMR: Department of Mineral Resources of Thailand)との古生物学的共同研究
- (ウ) 福井県立恐竜博物館との共同調査
- (エ) ミュージアムパーク茨城県自然博物館及び東京都市大学との古生物学的共同研究

(3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム系の業務には、以下のマイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務がある。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイミュージアムギャラリー(マイ・ミュージアム棟2階・展示室)で「岐阜県に在住、在勤及びゆかりのある個人又は団体(法人等)」が、長年にわたって調査・研究・収集されている貴重なコレクションを、広く展示公開する業務である。

マイ・ミュージアム業務には、岐阜県博物館収蔵資料データベースに係る業務、当該データベースのデジタルコンテンツ拡充・インターネット公開に係る業務(ホームページ運用を含む)、並びにけんぱくホール活用業務があり、ほかに岐阜県博物館の全県展開事業における民間商業施設連携事業を実施している。

①マイミュージアムギャラリーについて

ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果・作品には、質が高く、公開すべきものがあるとして、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・受信を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では、一定期間展示を公開する場の提供と側面支援を行うことで各展示前に定める目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の意見を参考にして次年度の展示会が決定される。なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

イ マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の開催

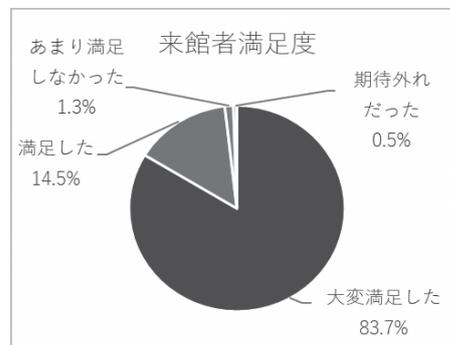
- ・日時 令和6年10月8日(火) 13:30~15:00
- ・場所 本館3階 第一会議室

ウ 展示記録「マイ・コレクション」(展示紹介チラシ)の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。これを展示会場内で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。令和6年度は平成7年度からの通番で、第210号から第214号までを発行した。

エ 観覧者、出展者への意識調査の実施と分析

観覧者にマイミュージアムギャラリー展示の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者にも満足度調査を行っている。調査結果については、分析と考察を行い、展示等の改善につなげている。



【図1 観覧者の満足度(選択式 n:386、R6年4月~R7年3月)】

また、図1に示すように観覧者の満足度は高く、展示内容とともに効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」、「いろいろな作品が見られ、出展者と交流することにより趣味が深められた」に高い満足度を認めることができ、県民相互の文化情報の交流に寄与できたものとする。

更に、出展者への意識調査では、高い満足度を得ていることが分かった。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目では、「価値有り」とした回答が多く、高評価を得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの運営は、当初の目的を充足したものと見える。しかし、いずれも例年と同様の結果を得たにすぎず、更なる改善が必要であることが明らかとなった。

情報機器を活用した展示や、レイアウトやパーティションを工夫した展示がいくつかあり、ギャラリー運営の新たな可能性を見出した。また、出展物展示のため、木棚作成用の木材を購入し、出展者の要望に幅広く対応した。今後も更に展示方法の改善を図り、出展者支援や観覧者の満足度向上に努めたい。

オ 令和7年度の出展申し込み

令和7年度出展候補として申込みは9件であった。申込みの内容は、コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心を喚起されることが期待できるものであった。

平成27年度より、高校生以下の部活動等による成果発表の場によるU-18ミュージアムを実施し、令和4年度には、IAMAS(情報

科学芸術大学院大学)による出展、令和5年度には、短期大学生による展示が行われた。今後も若い世代の成果発表の場を広げるために努めたい。

カ 令和7年度展示計画及び今後の課題

令和7年度出展候補10件について、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会にて委員から意見を聴き、7件の出展を決定した。年間をととしての展示内容のバランスや本館展示との連携を考えて、コレクションを中心とする出展希望の更なる充実を図ることが今後の課題である。

【マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の構成】

氏名	所属等
浅野 裕司	岐阜県博物館元館長
岩井 弘栄	民間有識者
加藤 誉使子	民間有識者
可児 光生	岐阜県博物館協会会長
杉江 祐子	岐阜県立各務原西高等学校長
土屋 明之	岐阜県芸術文化会議会長

(五十音順 敬称略)

② マイ・ミュージアム事業について

マイ・ミュージアム棟(平成7年竣工)は、先駆的なマルチメディアスタジオやハイビジョンホールを設置して、ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」等のオリジナルソフトを制作するなど、岐阜県における情報施策の拠点となる一方、前項の通り、マイミュージアムギャラリーで県民の収蔵品や作品を展示公開する県民の生涯学習施設として運営してきた。近年、マルチメディアやハイビジョンが前時代的となり、メディア編集・発信が家庭で簡便に行われるようになって、その普及啓発の意義が薄れたとして、平成22年に工房機能を停止し、平成29年にけんぱくホールと名称を改めた。

現在のマイ・ミュージアム事業は、ホールの運営のほか、収蔵資料に関するデジタルコンテンツの作成、収蔵資料データベースの運用・拡充・公開及びホームページの運用更新を行っている。これらに加えて、平成29年度より開始した全県展開事業の一環として主に大型民間商業施設との連携事業を実施している。

ア 収蔵資料データベース

岐阜県博物館では、平成21年度末、全国の博物館・美術館施設

がサーバを共有するクラウドサービス(I.B.MUSEUM SaaS)に収蔵資料データを移行し、平成23年度に部分的なインターネット公開を含めた現行データベースの本格的な運用を開始した。

現在は、収蔵する博物館資料と、資料利用履歴についてデータベースで管理を行っている。

当該データベースからは一部データを一般公開用としてデータを流用し、公開サイト(資料検索システム。平成27年度より運用し、令和7年3月現在の公開は682件)と「ポケット学芸員」(展示ガイドアプリ。令和2年4月より運用し、令和7年3月現在の公開78件)をインターネット経由で公開する機能を活用し、双方ともに順次コンテンツを充実させていく予定である。

コンテンツの拡充にあたっては、常設展示物・コーナーの公開が一通り終了しているため、今後は、展示替えの伴う収蔵品や、教育普及プログラム(リモート授業、展示解説など)も含めて柔軟に対象を拡大していきたいと考えている。

イ けんぱくホール

けんぱくホールは、大型プロジェクターと階段式客席を備えた多目的ホールで、現在は、セミナー・研修等の団体利用に供するほか、主に当館の講演会シリーズ「博物館学芸講座」等の講演会会場として運用している。

ホールにおける催事は、定員120人のところを、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として65人に半減、かつ、オンライン配信を併用して実施していたが、4年度に旧に復し、5年度よりオンサイト開催のみとなった。

A 博物館学芸講座

「博物館学芸講座」は、開館40周年を目前にした平成26年度より開始した講演会シリーズ「大人のための博物館講座」を、29年度に現在の名称に改称して、県民の歴史・芸術・民俗・産業・自然科学等に対する知的好奇心を喚起し、文化振興に寄与することを目的として実施している。主に外部の有識者等が講師を務め、岐阜県及び当館事業(特別展・企画展・常設展示等)に関連するテーマや、その折々の旬の話者による最新学術情報を取り上げてきた。年間8~14回開催しており、令和6年度は8回にわたって実施し、別に特別展・企画展関連講演会、報告会等6回(計14回)開催した。令和6年度実施の博物館学芸講座は次の通りである。

博物館学芸講座一覧(令和6年度)

	開催日	演題	講師	講師所属	参加
1	4/28日	関市の赤羽刀整備事業について	江西奈央美	関鍛冶伝承館学芸員	54
2	5/19日	赤羽刀と日本刀の魅力 様々な視点から	福井款彦	三重県・愛知県銃砲刀剣類登録審査委員	71
3	5/26日	登録有形文化財旧宮川家住宅主屋公開 記念 旧徳山村民家について	高橋宏之	揖斐川町文化財保護協会会長 岐阜県博物館元館長	51
			溝口正人	名古屋市立大学大学院教授	
4	6/9日	現代サブカルチャーの中の昆虫	保科英人	福井大学教育学部教授	29
5	9/15日	デスマスチルス類の進化	甲能直樹	国立科学博物館地学研究部生命進化史研究グループ長、筑波大学大学院生命環境科学研究科教授	39
6	10/6日	私たち生きものの中の私として生きる 幸せと豊かさを求めて	中村桂子	JT生命誌研究館名誉館長	58
7	11/16土	日本近世史を読み解く	若尾政希	人間文化研究機構理事、一橋大学大学院名誉教授	39
8	1/12日	徳川将軍家献上米「御膳粳」の歴史と 復活	長谷健生	各務原市歴史民俗資料館学芸員	55

※岐阜県博物館学芸講座を含む全講演会は p25 催し物開催状況一覧を参照

B 民間商業施設連携（全県展開事業）

平成 29 年度より全県域へのアウトリーチ活動（博物館機能の全県展開事業）の一環として、大型民間商業施設との連携事業を実施している。集客力の大きいショッピングモールで、出張けんぱく教室（ワークショップ）やサテライト展示を行い、館の周知と来館誘致を図るものである。

平成 29 年度に、モレラ岐阜（本巣市）・カフルタウン岐阜（岐阜市）・マーサ 2 1（岐阜市）・マーゴ（関市）（順不同）の 4 施設で開始し、このうち当館の立地するマーゴには当館のポスター・チラシの常設コーナーを設置していただいでい

る（同様常設を行っていたマーサ 2 1 は令和 3 年 12 月より店舗改装のため撤去）。その後、3 年度にイオンモール各務原（各務原市）、4 年度にはアクティブ G（岐阜市）・イオンモール土岐（土岐市）でも新たに連携事業を開始した。

各施設では出張けんぱく教室のほか、施設側の要望等によりサテライト展示（パネル展示を含む）を実施しており、6 年 5 月から出張けんぱく教室の、9 月からはサテライト展示の二次元コードによるアンケート調査を実施している。

令和 6 年度実施事業は次の通りである。

民間商業施設連携事業一覧（令和 6 年度実施分）

① 出張けんぱく教室

開催日	場所	プログラム	用意数・定員	材料費	参加/個
4/6 土	マーゴ	ジオード割り	50	800	140/92
4/20 土	マーサ 2 1	化石レジンアクセサリー	50	500	107/59
4/27 土	カラフルタウン岐阜	化石レプリカ	120	100	278/168
5/6 月振	モレラ岐阜	化石レジンアクセサリー	50	500	207/110
8/10 土	カラフルタウン岐阜	恐竜 VR	120	無料	117
8/11 日祝	アクティブ G	恐竜 VR	120	無料	120
9/23 月振	イオンモール各務原インター	ライチョウのレジンアクセサリー	50	500	107/57

② サテライト展示

7/20 土～8/17 土 「ティラノサウルス類の系譜」（カラフルタウン岐阜）

10/1 火～26 土 「美しい鉱物の世界」（カラフルタウン岐阜）

岐阜大学連携サテライト展示「絶滅から救え！ぎふの鳥ライチョウ」（以下の通り巡回）

4/13 土～5/12 日 マーゴ ※パネル展示（4/13～25）、実物展示（4/26～5/12）

4/26 金～5/23 木 モレラ岐阜

5/31 金～7/4 木 イオンモール土岐 ※パネル展示

8/1 木～8/28 水 アクティブ G

8/4 日～8/31 土 マーサ 2 1

※8/20 火～10/19 土 名古屋大学博物館「スポット展示 ライチョウ展」

9/13 金～9/23 月振 イオンモール各務原インター

③ GIFU マスタークイズラリー（モレラ岐阜）

期間	テーマ	関連展示
5 月～7 月	浮世絵	移動展「UKIYO-E」
7 月～10/27	古生物	特別展「ポケモン化石博物館」※
12 月～3 月	寺院跡遺跡	企画展「寺院跡からみた岐阜の歴史」

※特別版として実施

マーサ 2 1 にても実施（10 月）

7 資料収集活動

(1) 収蔵資料数 (令和7年3月31日現在)

① 人文分野

分野	資料数 (件)
考古	461
歴史	1,488
民俗	1,649
美術工芸	1,367
合計	4,965

② 自然分野

分野	資料数 (件)
動物	53,014
植物	91,289
岩石鉱物	2,193
化石	1,988
合計	148,484

収蔵資料数 合計 153,449

(2) 令和6年度寄贈資料一覧

① 人文分野

資料名	点数
濃州関ヶ原図	1
美濃国飛騨国地図	9
美濃国之図	1
濃陽諸土伝記	1
関ヶ原合戦図	1
美濃明細記	9
長湫戦場古図	1
土岐藤兵衛家文書	一式
応召祝旗	1
日章旗	1
写真	19
月岡芳年 月下の斥候 斎藤利三	1
歌川貞秀 (羽柴久吉公他武将図)	1
刀 銘 備州長船住景光 他	一式
脇差 無銘 (心慶胤光)	1

② 自然分野

資料名	点数
ウグイス	1
植物標本	7
植物標本	一式
オオルリ	1
昆虫封入標本	1
化石・岩石標本	一式
化石標本	一式
日本産鳥類の卵 (古書)	2
アカボシゴマダラ	1

交雑オオサンショウウオ	4
カプトガニの化石	1
岩石標本	一式
赤坂・奥飛騨産化石	23
シマセンニュウ	1
チュウゴクスジエビ	2
魚類・両生爬虫類標本	19
恐竜の歯	2
隕石	5
エビオルニス卵 (レプリカ)	1
オオコノハズク	1
大臼川産植物化石	76
浅見化石コレクション	874

(3) 令和6年度購入資料一覧

① 人文分野

購入資料名	点数
濃州土岐数城記	1
飛騨国金森出雲守諸事記	1
濃州不破之郡玉村御検地帳之写	1
土岐頼芸感状写	1
美濃国絵図	1
美濃国池田郡沓井村絵図	17
関ヶ原御戦場絵図	1
高山藩俯瞰図	2
美濃国厚見郡岐阜阜絵図	1
飛騨高山絵図	1
徳山二位法印則秀肖像	1

② 自然分野

購入資料名	点数
ウマノスズクサの花の拡大模型	1
アポフィライト	1
フローライト	1
トルマリン	1
モウセンゴケのレプリカ	1
古生物の頭骨・骨格レプリカ	2
鳥類標本	7
卵標本及びレプリカ	3
鳥類卵管模型など	2
エビオルニス卵化石	3
植物封入標本	7
小惑星リュウグウ縮小模型	1

8 教育普及活動

(1) 教育普及活動

① 催し物開催状況

催し物（館内）は、体験・鑑賞型の「けんぱく教室」（子ども・家族向け）、「講演会」（大人向け：「特別展・企画展講演会」「博物館学芸講座」、三重県総合博物館(MieMu)との交流企画)を、各係が担当して館内、館外において実施した。三重県総合博物館(MieMu)との交流企画では、人文分野の職員を相互に1名ずつ派遣して講演会を開催した。

<催し物開催状況一覧>

事業名	月	日	曜日	定員	参加	事業名	会場(館外)
けんぱく教室	4	29	月祝	12×2	26	ボタニカルアート体験 とうがらしを描こう	
	5	4	土祝	25	21	恐竜を造ろう	
	5	4	土祝	12	16	恐竜を組み立てよう	
	5	11	土	15	15	春の植物観察 植物の生活の工夫を知ろう	百年公園
	5	12	日	30	25	新収蔵資料・羽柴秀吉の古文書を読む	
	5	18	土	80	90	スプリングフェスティバル 化石レプリカづくり体験	百年公園
	5	19	日	80	114	スプリングフェスティバル 化石レプリカづくり体験	百年公園
	6	1	土	15×2	22	収蔵庫探検 自然史標本の役割を知る	
	6	15	土	30	23	豊臣秀吉の古文書を読む	
	6	22	土	15	23	恐竜に色をぬろう	
	8	11	日	36	44	三葉虫を取り出そう	
	9	22	日	36	42	三葉虫を取り出そう	
	10	12	土	15	8	秋の植物観察 植物の生活の工夫を知ろう	百年公園
	10	19	土	80	12	オータムフェスティバル 化石レプリカづくり体験 ※雨天のため午後中止	百年公園
	10	20	日	80	111	オータムフェスティバル 化石レプリカづくり体験	百年公園
	10	26	土	15	12	秋のきのこや植物を観察しよう	百年公園
	11	3	日祝	12	12	ミニ提灯絵付け体験	
	11	10	日	15	15	古代の寺跡を歩く 国史跡弥勒寺跡見学会	関市池尻
	11	17	日	25	23	恐竜を造ろう	
	11	17	日	12	8	恐竜を組み立てよう	
11	30	土	15×2	25	収蔵庫探検 自然史標本の役割を知る		
12	14	土	50	46	クリスマスナイトミュージアム		
1	5	日		56	昔の正月遊び		
博物館学芸講座 (講演会)	4	28	日	120	54	学芸講座「関市の赤羽刀整備事業について」	
	5	19	日	120	71	学芸講座「赤羽刀と日本刀の魅力 様々な視点から」	
	5	26	日	120	51	学芸講座「登録有形文化財旧宮川家住宅主屋公開記念 旧徳山村民家について」	
	6	9	日	120	29	学芸講座「現代サブカルチャーの中の昆虫」	
	9	15	日	120	39	学芸講座「デスマスチルス類の進化」	
	10	6	日	120	58	学芸講座「私たち生きものの中の私として生きる - 幸せと豊かさを求めて -」	
	11	16	土	120	39	学芸講座「日本近世史を読み解く」	
	1	12	日	120	55	学芸講座「徳川将軍家献上米「御膳粉」の歴史と復活」	
関連講演会	7	28	日	120	59	「『ポケモン化石博物館』で学ぶ最新古生物学」	
	8	25	日	120	39	「サメ化石研究最前線」	
	11	23	土祝	120	101	岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告会	
	12	7	土	120	59	岐阜県内山中寺院跡について シリーズ1	
	12	21	土	120	60	岐阜県内山中寺院跡について シリーズ2	
交流企画 講演会	6	23	日	120	37	三重県総合博物館交流企画「三重の円空 志摩地方に残る絵画作品を中心に」	
	3	2	日		26	三重県総合博物館交流企画「敗者の行方 豊臣から徳川へ」	三重県総合博物館

けんぱく教室	23回	789名	関連講演会等	5回	318名
学芸講座	8回	396名	交流企画	2回	63名
合計	38回		人数		1,566名

② わくわく体験

わくわく体験コーナーは、月に2回程度、日曜日に開催している。研修室を会場とし、8組×4回の入れ替え制で多くの方が体験できるようにした。体験メニューは「化石とり出し体験」「化石レプリカづくり」「ものづくり体験」の3つを主とし、「ものづくり体験」

は企画展、特別展に関連したものとして「鉱物標本づくり」「木の実のリースづくり」「藍の生葉染め」などを実施した。

＜わくわく体験コーナー＞

実施回数	参加人数	実施メニュー
16回	1,436人	化石とり出し体験、化石レプリカづくり、ものづくり体験（藍の生葉染め、鉱物標本づくりなど）

③ 展示解説

常設展解説は、毎日午前11時と午後2時に解説員により行った。テーマは「恐竜の話」・「合掌造りの話」・「鶴飼の話」・「輪中の話」・「大昔の人々のくらしの話」・「岐阜の大地の成り立ちの話」があり、時期や来館者の様子に応じて内容を選択して実施した。その他、特別展・企画展解説（ギャラリートーク）を実施し、学芸員による専門的な解説を来館者に直接提供した。

＜展示解説＞

	実施回数	参加人数	内容
常設展	392回	3060名	解説員による常設展示解説
ギャラリートーク	4回	211名	担当学芸員による展示解説（ギャラリートーク）

④ DX（デジタルトランスフォーメーション）事業

令和3年度に導入した「けんぱくデジタル展示室」、令和4年度に導入した「恐竜化石コンテンツ」（恐竜ARアプリ、恐竜VR体験）、刀剣鑑賞デジタルコンテンツ「刀剣鑑賞自由自在」は多くの来館者に利用いただいている。今年度は「恐竜化石コンテンツ」の恐竜VR体験を館外でのイベントで利用いただき、広報の拡大に努めた。

⑤ 団体利用

今年度は特別展「ポケモン化石博物館」を開催し、特別展期間中は一般の来館者数が例年よりも多く、1日の来館者数が約750名だった。来館者が多いことを想定し、特別展期間中に利用する団体には、展示解説、秋みつけ、化石レプリカづくりの対応は行わなかった。昨年度利用いただいた団体には、その旨を事前に連絡し、周知した。また、例年7月下旬に実施している団体利用説明会を5月末に実施し、早めに団体活動計画を作成していただき、各学校の希望に柔軟に対応できるようにした。特別展が終了した11月からは、例年と同様の活動プログラムを実施した。

今年度は百年公園の改修工事に伴い、例年実施している生活科との関連を図った「秋みつけ」を、徳山村民家（旧宮川家住宅）の奥にあるこども広場で実施した。

＜団体利用＞

月	日	曜	所在地	団体名	対象	人数	活動内容
4	7	日	関市	岐阜県警察学校	初任科生	71	展示解説（恐竜の話）、自由見学
4	13	土	関市	岐阜県警察学校	初任科生	57	展示解説（恐竜の話）、自由見学
5	2	木	愛知県瀬戸市	愛知県立瀬戸つばき特別支援学校	中	96	自由見学
5	16	木	愛知県稲沢市	稲沢市立下津小学校	小3	109	展示解説（恐竜の話）、化石レプリカづくり、展示セルフガイド
5	17	金	岐阜市	県教委センター研修（博物館活用講座）	教員	14	学芸員解説（自然展示室）、野外観察
6	5	水	関市	岐阜県中学校理科教育研究会	教員	46	
6	8	土	各務原市	株式会社ラポール	小・中	15	自由見学
6	13	木	可児市	かわい幼稚園	年中	29	自由見学
6	14	金	揖斐郡池田町	社会福祉法人 照偶会 西美濃の里	一般	16	自由見学
6	22	土	岐阜市	放課後等デイサービス ナナホシ岐阜事業所	小・中・高	16	自由見学
6	25	火	各務原市	各務原市立各務原特別支援学校	中1	24	学芸員解説（自然展示室） 展示セルフガイド
7	3	水	多治見市	多治見市立共栄小学校	小4	56	展示解説（合掌造りの話） 展示セルフガイド
7	13	土	各務原市	放課後等デイサービス ナナホシ蘇原事業所	小・中・高	12	化石レプリカづくり、展示セルフガイド
7	24	水	岐阜市	放課後等デイサービス novas（ノバース）	小・中	31	自由見学
7	31	水	岐阜市	放課後デイアネーラ	小・中	28	自由見学
8	4	日	関市	全国高等学校総合文化祭（自然科学部門）巡検	高	57	収蔵庫見学、自由見学

8	6	火	岐阜市	(株) ナナホシ 長森事業所	小・中	21	自由見学
8	8	木	大垣市	大垣市社会福祉協議会 大垣市立かわなみ作業所	一般	29	自由見学
8	16	金	岐阜市	ハートンキッズスクール	小・中	23	自由見学
8	16	金	岐阜市	笑顔学園 スポーツベア	小・中	23	自由見学
8	17	土	岐阜市	放課後等デイサービス ジムズジュニア	小・中	15	自由見学
8	17	土	可児市	児童発達支援・放課後等デイサービス たいよう	小・中	17	自由見学
8	20	火	岐阜市	ハートンキッズスクール	小・中	31	自由見学
8	21	水	岐阜市	放課後等デイサービス HOME BASE	小・中	20	自由見学
8	23	金	瑞穂市	NPO 法人 Link-up みずほ	小	26	自由見学
8	23	金	岐阜市	オプリージュインターナショナル幼稚園	幼	14	自由見学
8	27	火	岐阜市	放課後等デイサービス ジムズキッズ	小・中	28	自由見学
8	27	火	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年長	33	自由見学
8	27	火	関市	放課後等デイサービスアイカラズ富岡校	小	20	自由見学
8	28	水	岐阜市	放課後等デイサービス レインボーグループ	小・中	23	自由見学
9	6	金	関市	学校法人 聖心学園 のぞみ第2幼稚園	年長	85	自由見学
9	10	火	本巣市	本巣市立一色小学校	小1	20	自由見学、展示セルフガイド
9	14	土	恵那市	子供安全安心ハートクラブ	小・中	50	自由見学
9	14	土	岐阜市	放課後等デイサービスはぐくみ	小	20	自由見学
9	20	金	瑞穂市	瑞穂市立牛牧小学校	小	50	自由見学、展示セルフガイド
9	20	金	美濃市	美濃市教育研究会小学校理科研究部会	教員	4	収蔵庫見学、自由見学
9	22	日	愛知県瀬戸市	ボーイスカウト瀬戸第1団カブ隊	小	18	自由見学、展示セルフガイド
9	23	月	本巣市	放課後等デイサービス ラビットキッズWEST	小・中	17	自由見学
9	29	日	愛知県小牧市	レガロヘッド株式会社	小・中	24	自由見学
10	3	木	多治見市	多治見市立滝呂小学校	小3	63	自由見学、展示セルフガイド
10	4	金	関市	安桜保育園	年長	74	自由見学、展示セルフガイド
10	8	火	瑞穂市	瑞穂市立中小学校	小1	30	自由見学、展示セルフガイド
10	9	水	関市	関市立桜ヶ丘小中学校 分級	小	32	自由見学
10	9	水	美濃加茂市	放課後等デイサービス虹色 MAX 美濃加茂学習センター (令和さくら高等学院)	高	14	自由見学
10	9	水	関市	社会福祉法人小金田福祉会 小金田保育園	幼	80	自由見学
10	11	金	岐阜市	県教委センター研修 (博物館活用講座)	教員	15	学芸員解説 (自然展示室)、野外観察
10	11	金	不破郡垂井町	垂井町立宮代小学校	4年	26	自由見学、展示セルフガイド
10	14	月・祝	岐阜市	チャイルドウィッシュながら	小・中	19	自由見学
10	14	月・祝	関市	放課後等デイサービス すまいるネクスト	小・中	15	自由見学
10	17	木	愛知県江南市	江南市立宮田小学校	小1	86	自由見学、展示セルフガイド
10	18	金	羽島郡笠松町	笠松町立笠松小学校	小1	41	自由見学、展示セルフガイド
10	18	金	関市	倉知保育園	幼	123	自由見学
10	22	火	岐阜市	岐阜市立島小学校	小1	125	自由見学、展示セルフガイド
10	22	火	揖斐郡大野町	大野町立北小学校	小4	23	自由見学、展示セルフガイド

10	23	水	関市	関市立武儀小学校	小 1・2	18	自由見学、展示セルフガイド
10	24	木	羽島郡笠松町	笠松保育園	年長	29	自由見学
10	24	木	愛知県一宮市	一宮市立中島小学校	小2	86	自由見学、展示セルフガイド
10	24	木	岐阜市	いわのだこどもの森	年長	45	自由見学
10	25	金	岐阜市	ハートンこまつめ認定こども園	幼	75	自由見学、展示セルフガイド
10	25	金	岐阜市	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属幼稚園	年長	64	自由見学
10	25	金	関市	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属桐ヶ丘幼稚園	年中	45	自由見学
10	26	土	岐阜市	グローアップ正木	小・中	20	自由見学
10	26	土	羽島市	放課後等デイサービスサントラップ	小・中	20	自由見学
10	29	火	関市	関市立南ヶ丘小学校	小 1・2	25	展示解説（恐竜の話）、秋みつけ 展示セルフガイド
10	29	火	岐阜市	岐阜市立日野小学校	小1	71	展示解説（恐竜の話）、化石レプリカづくり 秋みつけ、展示セルフガイド
10	30	水	羽島郡岐南町	岐南町立東小学校	小1	106	展示解説（恐竜の話）、化石レプリカづくり 秋みつけ、展示セルフガイド
10	31	木	羽島郡岐南町	岐南町立北小学校	小1	64	展示解説（恐竜の話）、化石レプリカづくり 展示セルフガイド
10	31	木	愛知県犬山市	犬山市立東小学校	小3	54	化石レプリカづくり、展示セルフガイド
10	31	木	岐阜市	岐阜市立岩小学校	小4	26	展示解説（合掌造りの話、輪中の話） 展示セルフガイド
11	1	金	関市	関市立田原小学校	小1	48	展示解説（恐竜の話）、秋みつけ 展示セルフガイド
11	1	金	加茂郡川辺町	川辺町立川辺西小学校	小1	47	展示解説（恐竜の話）、化石レプリカづくり 秋みつけ
11	2	土	岐阜市	岐阜聖徳学園大学 初等生活Ⅱ（演習）	学生	12	自然観察
11	2	土	愛知県小牧市	児童発達支援放課後等デイサービスいろは	小・中	21	自由見学
11	3	日	岐阜市	岐阜聖徳学園大学 初等生活Ⅱ（演習）	学生	12	自然観察
11	4	月・振	愛知県江南市	イロドリ江南	小・中	12	自由見学
11	6	水	加茂郡八百津町	八百津町立和知小学校	小 1・2	58	展示解説（恐竜の話）、化石レプリカづくり 展示セルフガイド
11	6	水	岐阜市	岐阜市立鷺山小学校	小1	58	展示解説（恐竜の話）、化石レプリカづくり 秋みつけ、展示セルフガイド
11	7	木	可児市	可児市立東明小学校	小 1・2	42	展示解説（恐竜の話）、化石レプリカづくり 展示セルフガイド
11	7	木	関市	関市立安桜小学校	小1	70	展示解説（恐竜の話）、化石レプリカづくり 展示セルフガイド
11	8	金	各務原市	各務原市立稲羽東小学校	小1	21	展示解説（恐竜の話）、秋みつけ 工作活動
11	8	金	愛知県一宮市	ラポルトインターナショナルキンダーガーデン	年中	26	展示解説（恐竜の話）、自由見学
11	12	火	羽島市	羽島市立中央小学校	小3	154	展示解説（恐竜の話、古い道具と昔のくらし） 化石レプリカづくり、展示セルフガイド
11	13	水	本巣市	本巣市立本巣小学校	小1	51	展示解説（恐竜の話）、化石レプリカづくり 展示セルフガイド
11	13	水	関市	関市立武芸小学校	小1	17	展示解説（恐竜の話）、秋みつけ
11	13	水	本巣市	本巣市立根尾学園	小	35	展示解説（恐竜の話）、展示セルフガイド
11	15	金	加茂郡富加町	富加町立富加小学校	小1	64	展示解説（恐竜の話）、秋みつけ 展示セルフガイド
11	15	金	関市	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属桐ヶ丘幼稚園	年長	54	自由見学
11	19	火	岐阜市	岐阜市立三里小学校	小1	115	展示解説（恐竜の話）、秋のおもちゃ遊び 秋みつけ、展示セルフガイド
11	20	水	加茂郡川辺町	川辺町立川辺北小学校	小1	12	展示解説（恐竜の話）、秋みつけ、工作活動 化石レプリカづくり、展示セルフガイド
11	21	木	多治見市	多治見市立南姫小学校	小4	16	展示セルフガイド
11	21	木	本巣郡北方町	岐阜県立岐阜農林高等学校 森林科学科	高1	39	学芸員解説（自然展示室）、野外観察 展示セルフガイド
11	22	金	岐阜市	岐阜市立網代小学校	小 1・2	14	展示解説（恐竜の話）、化石レプリカづくり 展示セルフガイド

11	26	火	関市	関市立博愛小学校	小1	26	展示解説(恐竜の話)、秋みつけ 展示セルフガイド
11	27	水	羽島市	羽島市立中島小学校	小2	27	展示解説(恐竜の話)、化石レプリカづくり 展示セルフガイド
11	27	水	関市	関市立洞戸小学校・関市立板取小学校	小	20	秋みつけ、工作活動、展示セルフガイド
11	27	水	加茂郡東白川村	東白川村立東白川小学校	小4	12	展示解説(合掌造りの話、輪中の話) 化石レプリカづくり、展示セルフガイド
11	27	水	下呂市	下呂市立上原小学校	小5	13	自由見学
11	28	木	大垣市	大垣市立小野小学校	小2	183	展示解説(恐竜の話)、化石レプリカづくり 展示セルフガイド
11	28	木	美濃市	岐阜県美濃土木事務所	一般	52	自由見学
11	30	土	岐阜市	県教委 科学の甲子園ジュニア岐阜県代表チーム	中2	11	学芸員解説(自然展示室)、収蔵庫見学 自由見学
12	3	火	山県市	学校法人 春日学園 はなぞの北幼稚園	年長	29	展示解説(恐竜の話)、展示セルフガイド
12	4	水	岐阜市	県教委 幼稚園等新規採用教員研修	教員	38	どんぐり独楽づくり、秋みつけ 展示セルフガイド
12	4	水	岐阜市	学校法人 渡辺学園 サニーサイドインターナショナル スクール	年少	44	自由見学
12	5	木	岐阜市	県教委 幼稚園等新規採用教員研修	教員	33	どんぐり独楽づくり、秋みつけ 展示セルフガイド
12	6	金	岐阜市	岐阜市立岩野田小学校	小1	53	展示解説(恐竜の話)、秋みつけ、工作活動の 話、化石レプリカづくり、展示セルフガイド
12	11	水	岐阜市	岐阜市立長良東小学校	小1	107	展示解説(恐竜の話)、秋みつけ、徳山民家見 学、化石レプリカづくり、展示セルフガイド
12	16	月	関市	関市立西部保育園	年長	21	恐竜すす払い
12	18	水	大垣市	大垣市立日新小学校	小4	32	展示セルフガイド
12	22	日	岐阜市	親子環境エコツアー	一般	11	収蔵庫見学、自由見学
1	11	土	岐阜市	JAF デー	一般	28	化石とり出し体験、自由見学 徳山民家の解説、昔の遊び体験
1	17	金	岐阜市	学校法人 渡辺学園 サニーサイドインターナショナル スクール	年少	47	自由見学
1	24	金	郡上市	郡上市立川合小学校	小5	19	展示セルフガイド
1	28	火	郡上市	岐阜県高等学校教育研究会 中濃地区生物部会	教員	8	収蔵庫見学
2	21	金	関市	虹ヶ丘幼稚園	年長	62	展示解説(恐竜の話)、展示セルフガイド
3	5	水	美濃加茂市	美濃加茂市立伊深小学校	小	87	恐竜DVD視聴、展示セルフガイド
3	6	木	美濃加茂市	美濃加茂市立あじさい保育園	幼	73	展示セルフガイド
3	7	金	関市	社会福祉法人小金田福祉会 小金田保育園	年少	22	自由見学
3	12	水	本巣市	本巣市立根尾学園	中1	8	展示解説(恐竜の話)、展示セルフガイド
3	22	土	岐阜市	からふるジュニア	小・中	10	自由見学
3	26	水	愛知県江南市	児童発達支援 放課後等デイサービス イロドリ飛高	小・中	18	自由見学
3	28	金	岐阜市	オブリージュインターナショナル幼稚園	幼	11	自由見学

	団体数	人数
学校団体(幼保含む)	76校	3,845人
学校以外の団体	45団体	1,060人
合計	121団体	4,905人

⑥ 出前授業・講師派遣・リモート授業

今年度も例年と同様に「出前授業・リモート授業」を実施した。依頼のあった件については、招聘先として各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。今年度は特に教員向けに当館の活用事例を紹介する機会を増やし、学校団体利用の促進を図った。リモート授業においては理科や社会科の学習の一環として授業の内容に博物館の展示を活用した。これまでは当館からリモート授業の要請を行ってきたが、少しずつではあるが学校側からの要請が増えつつある。

<出前授業・講師派遣> (教育普及)

期 日	依頼者(会場)	対象	人数	講 演 内 容
令和6年5月17日(金)	本巣市学校教育研究会 小学校社会科部会 (真正中)	教員	16	岐阜県博物館の役割と活用
令和6年6月11日(火)	山県市立富岡小学校	小4	82	化石とり出し体験
令和6年6月14日(金)	山県市学校教育研究会 小学校社会科部会 (富岡小)	教員	18	岐阜県博物館の役割と活用
令和6年6月14日(金)	山県市学校教育研究会 小中理科部会 (美山中)	教員	17	岐阜県博物館の役割と活用
令和6年6月19日(水)	瑞穂市教育委員会理科主任会 (瑞穂市教育センター)	教員	14	岐阜県博物館の役割と活用
令和6年7月13日(土)	FC岐阜 (岐阜メモリアルセンター)	一般	216	化石レプリカづくり・VR体験
令和6年7月30日(火)	羽島市力量アップ研修 (羽島市民会館)	教員	10	岐阜県博物館の役割と活用
令和6年8月1日(木)	美濃市藍見公民館 (藍見地域ふれあいセンター)	小中	29	化石レジニアクセサリーづくり
令和6年10月16日(水)	キッズウィークイベント (羽島市民会館)	小中	48	化石レプリカづくり・VR体験
令和6年11月16日(土)	ぎふサイエンスフェスティバル2024 (岐阜メモリアルセンター)	一般	368	化石レプリカづくり
令和6年11月30日(土)	各務原市川島ライフデザインセンター (川島中学校)	一般	72	カラフル化石レプリカづくり
令和6年12月3日(火)	山県市立富岡小学校	小3	54	化石とり出し体験
令和6年12月17日(火)	高山市立江名子小学校	小6	39	化石とり出し体験、化石の授業
令和7年1月26日(土)	ハートフルフェスタ (ハートフルスクエアG)	一般	170	化石レプリカづくり
令和7年3月8日(土)	たじみこどもフェスタ (パロー文化ホール)	一般	426	化石レプリカづくり
令和7年3月18日(火)	八百津町立八百津中学校	中1	67	化石の授業

<リモート授業> (教育普及)

期 日	相手先	対象	人数	授 業 内 容
令和6年7月2日(火)	愛知県立港特別支援学校 (商業科)	高2	7	大昔の人々の暮らし
令和6年7月4日(木)	愛知県立港特別支援学校	高2	26	大昔の人々の暮らし
令和6年7月9日(火)	多治見市立脇之島小学校	小6	35	恐竜の話・大昔の人々の暮らし
令和6年7月12日(金)	本巣市立真桑小学校	小6	93	大昔の人々の暮らし
令和7年1月22日(水)	本巣市立本巣小学校	小6	46	恐竜の話
令和7年1月23日(木)	岐阜市立鏡島小学校	小6	95	恐竜の話
令和7年2月13日(木)	山県市立伊自良南小学校	小4	13	輪中の話
令和7年2月18日(火)	山県市立伊自良南小学校	小6	22	恐竜の話
令和7年2月27日(木)	岐阜市立岐阜小学校	小6	51	恐竜の話
令和7年3月4日(火)、 5日(水)、6日(木)	各務原市立陵南小学校	小6	73	恐竜の話
令和7年3月11日(火)、 13日(木)	北方町立北方南学園	義7	48	恐竜の話
令和7年3月13日(木)	山県市立伊自良中学校	中1	22	恐竜の話
令和7年3月18日(火)	下呂市立萩原南中学校	中1	57	恐竜の話

<出前授業・講師派遣> (自然)

期 日	依頼者	対象	人数	講 演 内 容
令和6年5月17日(金)	岐阜県教育委員会教育研修課	教員	13	博物館活用講座
令和6年8月5日(月)	NPO法人白川郷自然共生フォーラム	小中学生	20	恐竜の谷探検キャンプ
令和6年8月8日(木)	NPO法人白川郷自然共生フォーラム	小中学生	20	恐竜の谷探検キャンプ
令和6年9月18日(水)	関市立南が丘小学校	小5.6	—	カワゲラウォッチング
令和6年10月11日(金)	岐阜県教育委員会教育研修課	教員	15	博物館活用講座
令和6年11月9日(土)	石川県立自然史資料館	一般	—	学校理科室の標本が語る日本のライチョウ

⑦ 資料貸出

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
自然	岐阜大学応用生物科学部	ネコ科頭骨標本など	令和6年5月1日	令和6年8月3日	24
	岐阜市立長良西小学校	昆虫標本	令和6年5月16日	令和6年5月30日	8
	高山市立花里小学校	化石レプリカセット	令和6年8月31日	令和6年9月7日	一式
	岐阜聖徳学園高校	化石レプリカセットなど	令和6年6月28日	令和6年8月11日	一式
	エコミュージアム関ケ原	昆虫標本	令和6年7月1日	令和6年9月10日	一式
	環境生活部環境生活政策課	ライチョウ木彫	令和6年7月1日	令和7年6月30日	2
	各務原市立緑陽中学校	始祖鳥・脊椎動物骨格	令和6年7月9日	令和6年7月23日	一式
	日本モンキーセンター	人魚の剥製	令和6年7月20日	令和6年9月16日	1
	多治見市立多治見中学校	化石レプリカセット	令和6年7月23日	令和6年7月30日	一式
	エコミュージアム関ケ原	サシバなど猛禽類の剥製	令和6年9月1日	令和6年11月22日	6
	岐阜市立境川中学校	始祖鳥・脊椎動物骨格	令和6年9月6日	令和6年9月27日	一式
	岐阜大学教育学部	ヨシノボリ類の標本	令和6年9月24日	令和6年12月20日	一式
	沖縄県立博物館・美術館	化石・岩石標本	令和6年11月8日	令和7年3月21日	一式
	御嵩町立御嵩小学校	脊椎動物骨格	令和6年11月12日	令和6年11月22日	一式
	名古屋大学博物館	動物の骨格	令和6年11月14日	令和7年5月31日	13
	高山市立朝日小学校	化石レプリカセット	令和6年11月23日	令和6年11月30日	一式
	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	モモンガ、ムササビなど	令和6年12月7日	令和7年4月7日	7
	岐南町立岐南中学校	化石レプリカセット	令和7年2月4日	令和7年2月6日	一式
	環境アセスメントセンター	サンショウウオの標本	令和7年2月20日	令和7年3月31日	4
	長崎市恐竜博物館	恐竜のタペストリー	令和7年2月22日	令和7年5月25日	3
各務原市立那加中学校	化石レプリカセット	令和7年3月3日	令和7年3月14日	一式	
山県市立伊自良中学校	化石レプリカセット	令和7年3月18日	令和7年3月19日	一式	
人文	高山陣屋管理事務所	トビ（川狩り用）他	令和6年4月1日	令和7年3月31日	15
	関鍛冶伝承館	脇差 銘 飛騨守藤原氏房 他	令和6年4月4日	令和6年6月30日	18
	済法寺	木造十一面観音立像（レプリカ）他	令和6年5月1日	令和7年4月30日	5
	岐阜関ヶ原古戦場記念館	土俵空穂 他	令和6年6月20日	令和6年9月5日	3
	関鍛冶伝承館	小太刀 銘 濃州関住人兼定／享徳三年二月日 他	令和6年7月1日	令和6年9月10日	4
	岐阜関ヶ原古戦場記念館	徳川秀忠書状	令和6年9月10日	令和6年12月17日	1
	岐阜県文化伝承課	刀剣鑑賞自由自在	令和6年9月19日	令和6年11月28日	一式
	岐阜県現代陶芸美術館	加藤孝造作 鉄釉壺	令和6年9月25日	令和7年3月27日	1
安城市歴史博物館	THE GREAT EARTHQUAKE OF JAPAN 1891 他	令和6年11月22日	令和7年1月24日	5	
合 計					134

⑧ 画像提供等

	機 関 名	資 料 名	申請日（提供日）	点数
自然	株式会社 KANADEL	層状チャート（飛騨川）	令和6年5月16日	1
	ふじのくに地球環境史ミュージアム	ミソハギ科、ラン科、ヒルガオ科など	令和6年6月4日	一式
	岐阜県立瑞浪高等学校	ジオランドぎふ地質図など	令和6年6月6日	一式
	株式会社みつとめるへん社	イグアノドンの全身骨格	令和6年6月27日	1
	環境生活部環境生活政策課	恐竜の歯の化石など	令和6年5月12日	3
	環境生活部環境生活政策課	植物標本データ	令和6年8月1日	一式
	株式会社キウイラボ	ジオランドぎふ 画像チャートなど	令和6年9月19日	2
	岐阜新聞社	ハナノキ、ライチョウ	令和6年10月13日	2
	ふじのくに地球環境史ミュージアム	シュロソウ科	令和6年10月23日	一式
	株式会社 共同テレビジョン	人魚の剥製	令和6年11月13日	1

	環境生活部環境生活政策課	カワウ	令和6年11月22日	1
	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	ハシボンガラス風切羽	令和6年12月7日	2
	滋賀県立琵琶湖博物館	カリコテリウム類	令和6年12月21日	2
	荻山恒弘	イケミネナライシダ	令和6年12月20日	1
	日本野鳥の会 岐阜	鳥類標本データ	令和7年1月6日	一式
	御船町恐竜博物館	トロオドン科恐竜の復元模型	令和7年2月20日	1
	高山市教育委員会文化財課	岐阜県の地質概要図	令和7年3月14日	一式
人 文	関鍛冶伝承館	脇差 飛騨守氏房 他	令和6年4月1日	4
	毎日新聞岐阜支局	葛飾北斎「諸国瀧廻り木曾路ノ奥阿弥陀ケ瀧」	令和6年5月8日	1
	オフィスキヨノ	歌川国芳「木曾街道六十九次之内 守山達磨大師」	令和6年5月16日	1
	(株)NHK エンタープライズ ライツアーカイブセンター	歌川豊宣「板垣君受難之図」	令和6年5月16日	1
	横山 明弘	特別展『壬申の乱の時代—美濃国・飛騨国の誕生に迫る』図録掲載の壬申の乱図	令和6年5月27日	1
	岐阜関ヶ原古戦場記念館	土俵空穂 他	令和6年5月30日	3
	戎光祥出版(株)	歌川豊宣「板垣君受難之図」	令和6年6月5日	1
	岐阜関ヶ原古戦場記念館	徳川秀忠書状	令和6年6月25日	1
	関鍛冶伝承館	小太刀 銘 濃州関住人兼定ノ享徳三年二月日 他	令和6年7月10日	4
	戎光祥出版(株)	関ヶ原合戦絵巻	令和6年7月31日	1
	可児市経済交流部歴史資産課	槍 銘 赤穂住則之五拾一歳鍛焉ノ天保四巳二月吉日	令和6年9月20日	1
	NPO musubi	ウィンチェスター銃	令和6年10月12日	2
	(株)NHK エンタープライズ ライツアーカイブセンター	歌川国芳「木曾街道六十九次之内 京都鶴大尾」	令和6年10月15日	1
	安城市歴史博物館	THE GREAT EARTHQUAKE OF JAPAN 1891 他	令和6年10月16日	7
合 計				53

⑨ 特別利用(資料調査)

	機 関 名	資 料 名	申請日(提供日)	点数
人 文	安城市歴史博物館	THE GREAT EARTHQUAKE OF JAPAN 1891 他	令和6年7月3日	5
	NPO musubi	ウィンチェスター銃・火縄銃	令和6年10月12日	2
	宇都宮美術館	河村目呂二作品	令和6年8月12日	4
	岩村孝平	家形石棺	令和6年11月4日	1
	公益財団法人 黒川古文化研究所	円満寺山古墳出土土文帯神獣鏡 他	令和6年11月6日	3
	名古屋市博物館	羽柴秀長禁制札	令和6年2月5日	1
合 計				16

⑩ 刊行物

名 称	種 別	発行年月日	判、仕様	部数
岐阜県博物館報第47号	刊行物	令和6年4月1日	A4、43頁	700
岐阜県博物館調査研究報告第45号	刊行物	令和7年3月31日	A4、54頁	600
令和6年度 展示・催し物年間スケジュール	リーフレット	令和7年3月31日	A4、3ツ折	40,000
2025 教員のための博物館の日 in 岐阜県博物館	チラシ	令和7年3月31日	A4、両面	1,800
【展覧会刊行物】				
移動展「UKIYO-E -多岐多様-	ポスター	令和6年4月6日	B2、片面	1,400
移動展「UKIYO-E -多岐多様-	チラシ	令和6年4月6日	A4、両面	30,000
企画展「返還30年 岐阜の赤羽刀 -美濃伝をたどる-	ポスター	令和6年4月20日	B2、片面	1,600
企画展「返還30年 岐阜の赤羽刀 -美濃伝をたどる-	チラシ	令和6年4月20日	A4、両面	84,000

特別展「ポケモン化石博物館」	ポスター	令和6年7月19日	B2、片面	3,200
特別展「ポケモン化石博物館」	チラシ	令和6年7月19日	A4、両面	240,000
博物館・文化財保護センター連携企画展「寺院跡からみた岐阜の歴史」	ポスター	令和6年11月9日	B2、片面	1,600
博物館・文化財保護センター連携企画展「寺院跡からみた岐阜の歴史」	チラシ	令和6年11月9日	A4、両面	94,000
移動展「美しい鉱物の世界」	ポスター	令和7年1月5日	B2、片面	1,500
移動展「美しい鉱物の世界」	チラシ	令和7年1月5日	A4、両面	34,000
企画展「雑草とよばないで」	ポスター	令和7年3月18日	B2、片面	1,550
企画展「雑草とよばないで」	チラシ	令和7年3月18日	A4、両面	34,000
【マイ・ミュージアム刊行物】				
マイ・コレクション 第210号	チラシ	令和6年4月6日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第211号	チラシ	令和6年5月25日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第212号	チラシ	令和6年8月31日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第213号	チラシ	令和6年10月12日	A4、両面	1,500
マイ・コレクション 第214号	チラシ	令和6年11月30日	A4、両面	1,500
マイミュージアムギャラリー	ポスター	令和7年3月31日	B2、片面	1,600
マイミュージアムギャラリー	チラシ	令和7年3月31日	A4、両面	14,000

⑪ 図書館資料（令和7年3月31日現在）

	図書館資料数	備 考
一 般 資 料	25,010	
郷 土 資 料	6,317	
児 童 書	1,199	
博 物 館 資 料	6,191	含 当館資料、棚橋文庫
合 計	38,717	

(2) 広報活動

入館者及び館外での博物館利用者の増加を目指して、広報活動の充実を図った。

① 館外掲示の活用

博物館入口前、百年公園北口及び南口の掲示物ケース内に直近及び2カ月内に開催予定の催し物情報を示し、百年公園来園者に対する当館への誘導を行った。また、特別展・企画展開催中であることを、公園北口から館入口までの各掲示板にポスターを用いてアピールした。

令和7年度に百年公園北口の改修工事があり、これまで使用していた看板を新しいものに更新し、より来園者の目に留まる掲示となった。

② 館内掲示の活用

館入口から本館インフォメーションまでの入館者の移動経路上に、過去の特別展・企画展のポスターアーカイブ、人文・自然分野の特集、館内見どころ案内などを掲示して、博物館の活動や所蔵資料等に対する入館者の興味関心の高揚に努めた。

③ 情報誌の積極的な活用

県内及び近隣の県で発行されている情報誌や、博物館や観光の紹介ウェブサイト上の読者プレゼントコーナーに招待券を提供した。展覧会の内容に興味関心がある方々が自身で応募されているので、提供した招待券の多くは活用されている。

④ 情報配信メールの活用

情報配信リストに登録された方に、催し物や講演会、各種講座の開催情報を提供した。情報配信のテンプレートを改良したことで分かりやすい案内にするだけでなく、予約システムへのリンクを設定することで、スマホから直接申し込みができるようにして利便性を高めた。

⑤ SNSによる積極的な情報の発信

当館公式Xを積極的に活用し、楽しくてためになるタイムリーな情報発信に努めた。日頃からSNSに慣れ親しんでいる若い世代への情報提供に役立ち、「いいね」の数も増えてきている。その他、開催するイベント告知だけでなく、各係・学芸員発の専門色のある旬の情報発信も好評だった。

⑥ 人気マスコットキャラクターの活用

当館の人気キャラクターの「博くん」「アロちゃん」「デスマスさん」を館内外の掲示やSNSへ登場させて、広報大使を務めさせた。また、日本各地の博物館・美術館の公式キャラクターが出場する「ミュージアムキャラクターアワード2024」にアロちゃんを立候補させた。その結果1,240票を獲得して15位となった。

(3) 博物館実習（学生向け）

8月21日（水）から8月25日（日）までの5日間、岐阜女子大学（3名）、名城大学（1名）、中京大学（1名）、中部大学（1名）、愛知学院大学（1名）、滋賀県立大学（1名）、皇學館大学（1名）、日本大学（1名）、高知大学（1名）、八洲学園大学（1名）の10大学から12名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、人文5名、自然4名、教育普及3名であった。実習計画は下記の通りである。

<実習計画>

第1日目	実習開講式、館長講話、学芸部長講話、岐阜県博物館の概要、博物館学芸員の仕事、教育普及係の仕事、人文係の仕事・人文資料の概要
第2日目	自然係の仕事・自然資料の概要、マイ・ミュージアム係の仕事、分野別実習

第3日目	分野別実習
第4日目	分野別実習
第5日目	分野別実習

(4) 職場体験学習（中学生）

関市及び岐阜市の中学校3校から職場体験学習の依頼を受け、各校2日間の日程で実習を行った。主な内容として「広報物の発送作業」「団体対応」「掲示物づくり」などの教育普及業務を行った。

期間	学校	人数	日数
10月16日、17日	関市立緑ヶ丘中学校	5名	2日
10月23日、24日	岐阜市立藍川中学校	5名	2日
10月31日、11月1日	関市立桜ヶ丘中学校	2名	2日

(5) 教員のための博物館の日（団体利用説明会）

国立科学博物館が提唱する教員向けプログラム「教員のための博物館の日」により、学校関係者の入館料を減免して、博物館の魅力を知ってもらおうと実施した。ホームページでの開催告知、県内高等学校・特別支援学校への電子メールでの案内、小・中学校への案内チラシの配布など周知に努めた。

実施内容は、各展示解説、ものづくり体験、博物館の活用例紹介などの時間割をあらかじめ組んでおき、参加者個々が好きなプログラムを選択して参加できる方法を採用した。

参加者からの反応も大変よく、特に学芸員による専門的なワンポイント解説は好評であった。中には2日連続で参加される先生や、愛知県から参加される先生もおり、「教員のための博物館の日」の認知に広がりや深まりが生まれている。例年は小中学校の先生が多いが、今年度は高等学校や特別支援学校の先生方の参加割合が高かった。

	開催日	参加者数（人）
1日目	7月24日（水）	7
2日目	7月25日（木）	27
3日目	7月26日（金）	15

<実施内容>

学芸員テーマ解説	戦国時代の岐阜、旧徳山村民家見学、植物の生活の工夫、標本の話、岐阜の手取層群
学芸員展示室解説	人文展示室解説、自然展示室解説
解説員解説	恐竜の話、大昔の人々の暮らし
教育普及活動紹介	授業で活用できる資料や講座等紹介
わくわく体験	化石レプリカづくり、組紐ストラップづくり

(6) 三重県総合博物館（MieMu）との交流事業

今年度も、三重県総合博物館との交流企画として、互いの職員が出向いて講演会を行った。

【三重県総合博物館（MieMu）からの派遣】

日時	令和6年6月23日
演題	「三重の円空 志摩地方に残る絵画作品を中心に」
講師	瀧川 和也（三重県総合博物館 学芸員）
会場	岐阜県博物館

【岐阜県博物館からの派遣】

日時	令和7年3月1日
演題	「敗者の行方 豊臣から徳川へ」
講師	山田 昭彦（岐阜県博物館 学芸員）
会場	三重県総合博物館（MieMu）

9 利用状況

(1) 利用者数

令和6年度の入館者数は89,971人で、前年度より入館者数が約40,000人増加した。特別展「ポケモン化石博物館」の期間中は館内及び百年公園駐車場の混雑を予想し、予約システムによる入館手続きを行った。夏休み期間、土日祝日は予約枠がすべて埋まり、1日の入館者が1,000人を超える日が数日あった。岐阜県図書館での連携企画展、飛騨高山まちの博物館での移動展など館外で行った展覧会も好評で、館外利用者数は前年度よりも増加した。

月	館内利用						館内及び館外利用
	開館日数	総入館者数	一般	大学生	高校生以下	一日平均	
4	25	3,281	2,295	22	964	131.2	26,445
5	27	4,798	3,261	45	1,492	177.7	30,739
6	26	3,261	2,413	49	799	125.4	10,992
7	26	10,505	5,633	61	4,811	404.0	11,723
8	27	25,543	12,836	220	12,487	946.0	28,753
9	25	14,814	9,001	299	5,514	592.6	16,528
10	27	17,339	9,828	209	7,302	642.2	19,705
11	26	4,358	2,363	56	1,939	167.6	6,770
12	24	2,329	1,588	40	701	97.0	3,628
1	9	1,497	1,048	21	428	166.3	6,772
2	0	62	6	0	56	—	4,247
3	12	2,184	1,295	19	870	182.0	4,354
計	254	89,971	51,567	1,041	37,363	354.2	170,656

※1/14～3/17は施設設備改修に伴う臨時休館

特別展	期間	期間中入館者数
ポケモン化石博物館	7/19(金)～10/27(日)	65,384人

※1つの展覧会の入館者数として開館以来過去最高

(2) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握して今後の博物館運営に生かすために、アンケート調査とその結果を考察している。このアンケートは、県政モニターの方に回答していただいたり、館内数か所に設置した回収箱付近で、来館者が自発的に記入して投函したりする方法で行っているものである。

【表1 来館目的(複数選択可 n=750、R6年4月～R7年3月)】

目的	回答数	構成比
特別展・企画展の観覧	404	53.9%
常設展	110	14.7%
マイミュージアムの観覧	46	6.1%
催し物への参加	33	4.4%
講座・講演会	14	1.9%
初めてで興味があった	81	10.8%
公園に来て	25	3.3%
その他	37	4.9%

来館目的では、表1に示すように、「特別展・企画展」が半分を占め、この傾向は例年よりかなり高かった。特別展「ポケモン化石博物館」のチラシを県内小学校に配布したことにより広報効果が大きいと考えられる。今年度、百年公園の改修工事を行ったことから、「公園に来て(3.3%)」が例年より少なくなった。令和7年4～6月に第42回全国都市緑化ぎふフェアが実施され、会場の1つが岐阜県百年公園となっている。緑化フェアでは多くの方が公園に来園されるため、公園

に来た方が博物館に多く来館いただけるよう公園内に設置している博物館のイベント情報をこまめに更新していく。

【表2 来館者の満足度(選択式 n=592、R6年4月～R7年3月)】

※選択肢は「大変良い」「まあ良い」「あまり良くない」「良くない」の4つ。このうち前2者、後2者をそれぞれ合わせた割合を、満足、不満足として示す。

内容	満足	不満足
特別展・企画展	95.8	4.2
常設展	96.8	3.2
MMG	96.0	4.0
展示解説	95.2	4.8
催し物	94.6	5.4

[%]

来館者の満足度については、表1に示すように、いずれも95%程度と高い。特別展・企画展もさることながら、常設展のよさにも気づいていただけていることがわかる。

記述式による回答には、「ポケふたも新しく出来たし、ポケモンの展示や骨格等見どころ満載でとてもおもしろかった」「久しぶりに博物館に来て、鉱物の展示に心を動かされた。貴重なはくせいやジオラマがたくさんあり、たいへん見ごたえのある展示だった。また、自然の環境だけでなく、地域の歴史や文化などにもふれることができおもしろかった」など、県博物館としての存在意義を示すような意見も複数見られた。建物や展示物の老朽化の指摘や交通の便、など、ハード面に関する要望もあった。館内外にある魅力的な資源(物的、人的、環境的など)の活用など、ソフト面におけるさらなる工夫改善・充実を図っていく。

10 博物館関係団体

(1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を深めることを目的とする会である。そのために、博物館と密接に連携を取り、博物館の事業や活動をサポートしている。

令和6年度の一般会員数は271名、後援会員は6団体である。その一方で、継続会員の高齢化が進み退会者も多いのが現実である。若い人たちをより惹きつけるような会になるよう、博物館と一層の連携を図り、生涯学習に繋がる魅力的な活動を推進していくことが課題である。

令和6度の主な事業、行事は次の通りである。

① 会議

春季理事会・総会 5月9日(木)
 秋季理事会 11月14日(木)
 会長・副会長会議 令和7年 3月 8日(土)

② 各種委員会

会報委員会 4月11日(木)
 七草委員会 —
 探訪委員会 令和7年 3月 8日(土)
 会計監査 4月11日(木)

③ 広報誌の発行

「友の会報」は140号(6月) 141号(9月) 142号(3月)の年3回発行した。「会員の声」を多く掲載、A4判6頁モノクロ、300部。会報の一部を博物館HPに掲載。

④ 図録の刊行と在庫図録の販売

今年度は図録の刊行はなし。
 在庫図録は館内ショップでの販売および委託販売(東博、歴民博、下呂発温泉博物館)をしている

⑤ 博物館との共催事業の実施

- ・特別行事 「七草がゆを食べよう」当初から中止
- ・わくわく体験、けんぱく教室
館内・館外で体験や教室の開催を支援した。

⑥ 友の会員の入館料助成・博物館事業の普及

今年度の会員の博物館入館者は、常設展300人。特別展「ポケモン化石博物館」は招待券を配付した。

入館料減免に対して、友の会角2封筒に博物館HP・X(旧ツイッター)・フェイスブック・インスタグラムのQRコードを掲載する、博物館の広報に努めた。また、ミュージアムショップの充実をはかる、ポケモン化石博物館特設ショップを円滑に運営する、図書及び資料を寄贈する等、博物館の運営および博物館の来館者満足度の向上に資することにつとめた。

⑦ 探訪の旅

友の会では、会員相互の親睦を図るとともに、見聞を広め、教養を高めるために、探訪の旅を実施している。昭和61年以降、国内探訪は歴史的名所、旧蹟を訪ねる旅行を84回実施。平成4年からは、世界遺産見学を中心にこれまでに15回に及ぶ海外探訪の旅を実施してきた。

研修と見学を柱とした探訪の旅の特色は次の通りである。

- ・探訪の目的を明確にして、手作りの日程を策定
- ・独自の解説書を作成し、参加者に配布して現地での研修、見学に活用

令和6年度の春の探訪の旅は最少催行人数に達せず中止したが、宿泊探訪の旅は令和7年2月4日(火)～6日(木)に「瀬戸内しまなみから土佐を巡る旅」(参加者16名)を実施した。

(2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

令和6年度は会員研修会や機関紙発行、各部会による公開講座や見学会、研修等の諸事業を行った。

令和7年3月現在、会員館は109館、個人会員は17名。主な役員は次のとおりである。

会長：可児 光生
 副会長：名和 哲夫、日比野 克彦、丹羽 和也
 石崎 泰之、牛丸 岳彦

なお、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

4/12	第1回企画委員会
5/30	第1回理事会・総会・会員研修会
7/27・7/28	飛騨ブロック 公開講座
7/30	第2回企画委員会
8/1	中濃ブロック 研修会
9/30	機関紙『岐阜の博物館』No. 195発行
10/3	中濃ブロック 研修会
10/30	中濃ブロック 研修・見学会
11/26	会員研修会
12/13	東濃ブロック 研修会
12/19	ひと部会 研修会
2/7	ひと部会・もの部会・東濃ブロック連携 研修会
2/20	第3回企画委員会
2/28	第48回東海三県博物館協会研究交流会(愛知)
3/11	中濃ブロック 見学会
3/13	第2回理事会
3/31	機関紙『岐阜の博物館』No. 196発行

IV 利用案内（令和7年度）

- 開館時間 4月～10月 9時～16時30分（入館は16時まで）
11月～3月 9時30分～16時30分（同上）

- 入館料

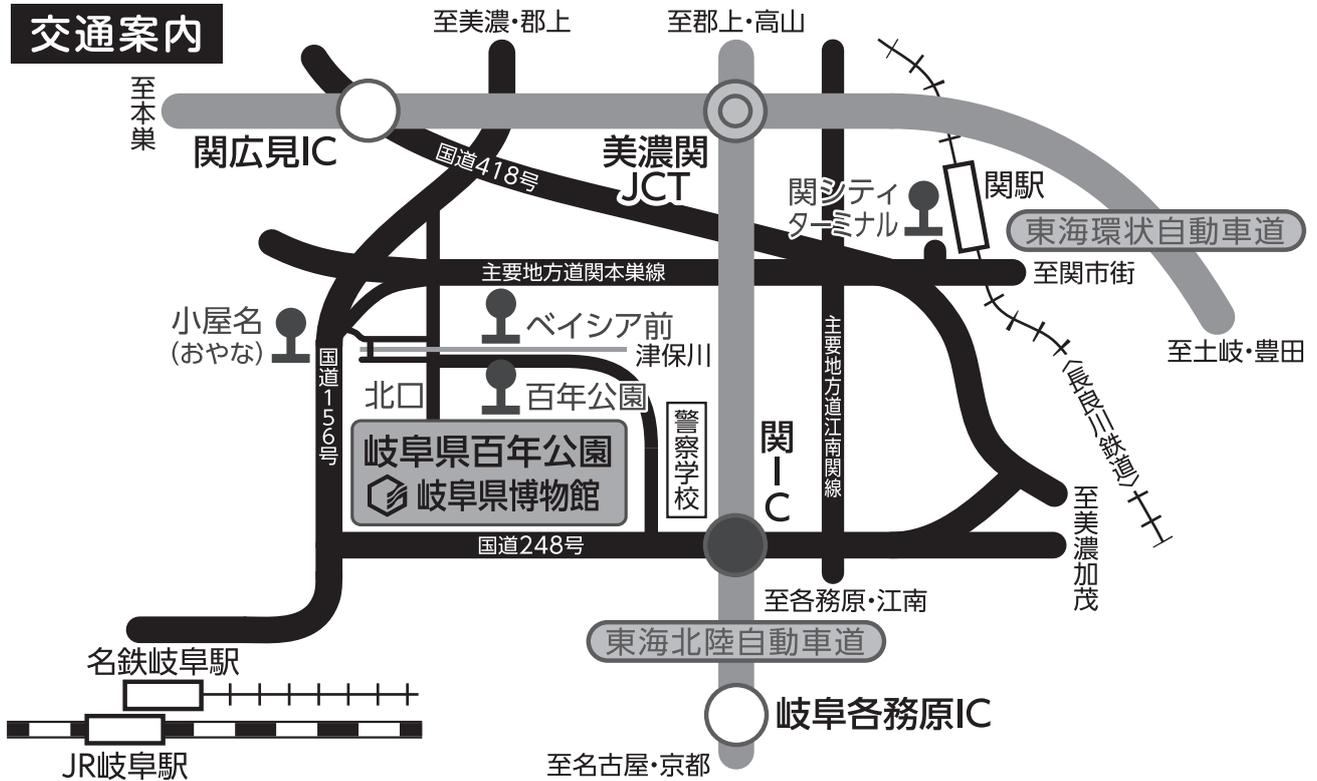
区分	本館		マイ・ミュージアム
	通常	特別展開催中	
一般	340(280)円	600(520)円	無料
大学生	110(50)円	300(200)円	
高校生以下	無料	無料	

（ ）は20名以上の団体

- 休館日
 - ・月曜日（祝日または振替休日の月曜日は開館し、その直後の平日が休館）
 - ・年末年始（12月29日～翌年1月3日）

- 駐車場 岐阜県百年公園北口駐車場をご利用ください。

交通案内



- 東海北陸自動車道 関インターから車で5分
- 岐阜バス（小屋名バス停下車 徒歩20分）
 - ※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください。（岐阜関線、岐阜美濃線）
 - ※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。（岐阜関線）
- 関シティバス（・百年公園バス停下車7分 300m ・ベイシア前バス停下車10分 600m）
 - ※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。（わかかさ・小金田線、わかかさ・千足線）

お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場（無料）をご利用ください。
北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所までお申し出ください。
※南口駐車場から博物館までは、徒歩約2km（勾配有り）です。

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知

清流がもたらした

自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創

ふるさとの宝ものを磨き活かし、

新たな創造と発信に努めます

伝

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

そして、

共

ふるさとへの愛着と誇りを胸に、

一人ひとりが輝く未来を共に築きます

岐阜県博物館報 第48号

令和7年（2025）4月1日 発行

編集・発行 岐阜県博物館
関市小屋名1989（岐阜県百年公園内）
TEL <0575> 28-3111
印刷 有限会社 大六印刷